

SB81 スタートガイド

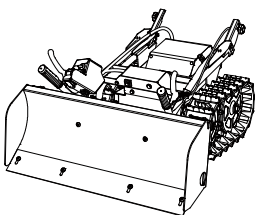
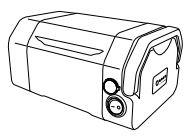
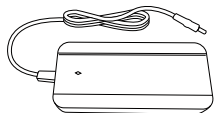
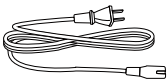




本紙では、はじめてご使用いただくための準備内容を記載しています。
本機の詳しい取扱い方法は取扱説明書をお読みください。

このたびは、和同製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品は以下の部品が入っています。

ダンボール箱を開梱しましたら、全ての部品が揃っているか一度ご確認ください。

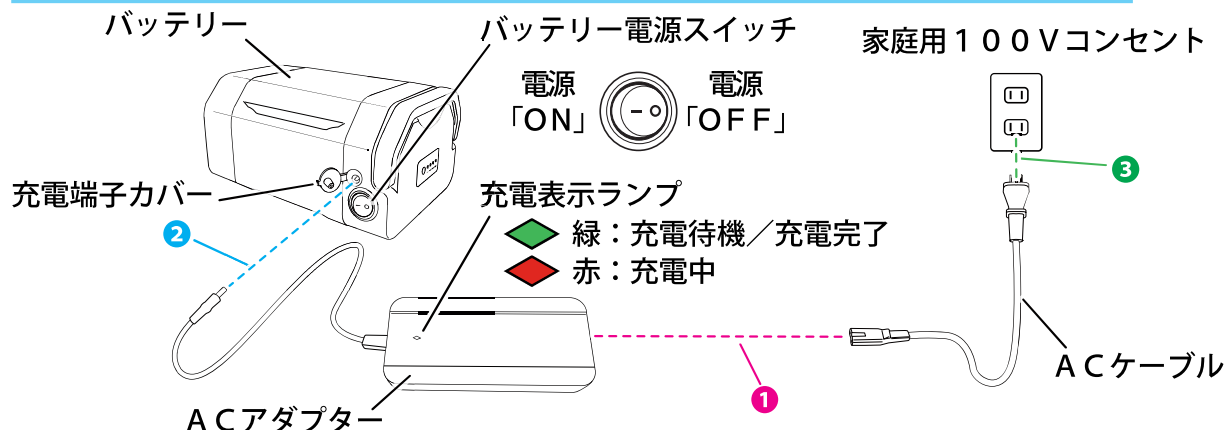
<内容物一覧>

- | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|------------|
| ・本機 1台
(折りたたみ状態) | ・バッテリー 1個 | ・ACアダプター 1個 | ・ACケーブル 1本 |
|---------------------|-----------|-------------|------------|
- 
- 
- 
- 
- | | | | |
| --- | --- | --- | --- |
| ・保証書 1式 | ・ロックキー 2個 (1個予備) | ・ブレードヒューズ A30 1個 (予備) | ・ノブボルトセット (3部品) 2セット |
- 
- 
- 
- 
- | | | | |
| --- | --- | --- | --- |
| ・取扱説明書 1冊 | | | |
- | | | | |
| --- | --- | --- | --- |
| ・スタートガイド (本紙) 1枚 | | | |

●本製品をご使用いただくまえに

①本製品を安全にご使用いただくために、まずは取扱説明書の「1章 安全に作業するために必ずお守りください」をご一読ください。

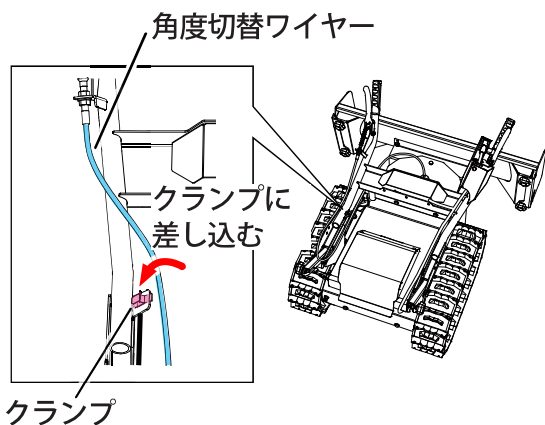
②バッテリーを充電します。(お買い上げ時のバッテリーは完全に充電されていません。)



- 1) バッテリー電源スイッチを「OFF」位置にします。
- 2) バッテリーの充電端子カバーを開けて、①②③の順番で接続してください。
ACアダプターの充電表示ランプが赤色に点灯し充電が開始されます。(約5時間)
- 3) 充電が完了すると、ACアダプターの充電表示ランプが緑色に点灯します。
- 4) ③②の順番で取外して、充電端子カバーを閉じてください。
①は接続したままでも問題ありません。

③本機のハンドルを起こします。

- 1) 機体左側の角度切替ワイヤーをハンドル左側のクランプに差し込みます。

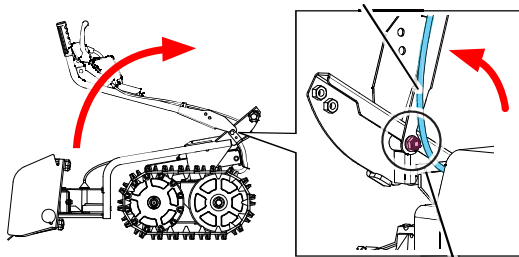


- 2) ハンドル全体をゆっくりと起こします。

〔重要〕

ハンドルを起こす際に、ハンドル支点部にワイヤー(左側)とハーネス(右側)を引っ掛けないようにしてください。

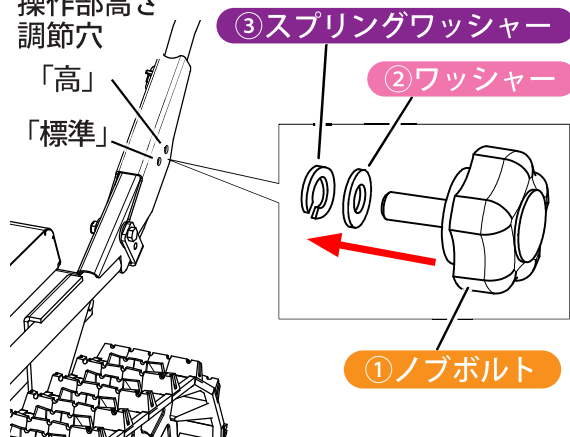
ワイヤー (右側の場合はハーネス)



- 3) 操作部高さ調節穴の「標準」「高」どちらかを選択し、穴位置をあわせて、①ノブボルト、②ワッシャー、③スプリングワッシャーの部品3点を、下図の順番で取付けます。

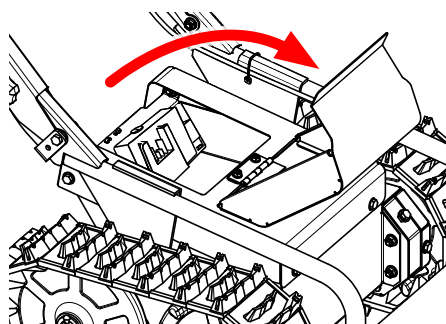
操作部高さ
調節穴

「高」
「標準」

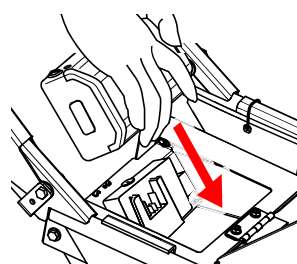


④バッテリーを取付けます。

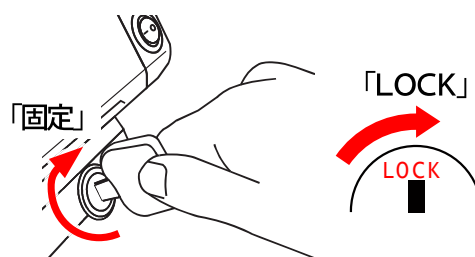
- 1) バッテリーカバーを開きます。



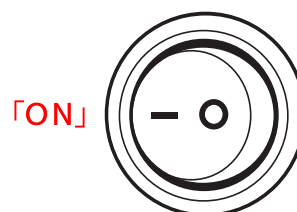
- 2) バッテリーの端子の向きを確認し、バッテリー外周を両手でしっかり支えながらバッテリーを本体のホルダーに差し込みます。



- 3) 同梱のロックキーを差込み、時計回りに回して、バッテリーロックを「LOCK」位置にしてバッテリーを固定します。その後、ロックキーを抜いてください。



- 4) バッテリー電源スイッチを「ON」位置にします。



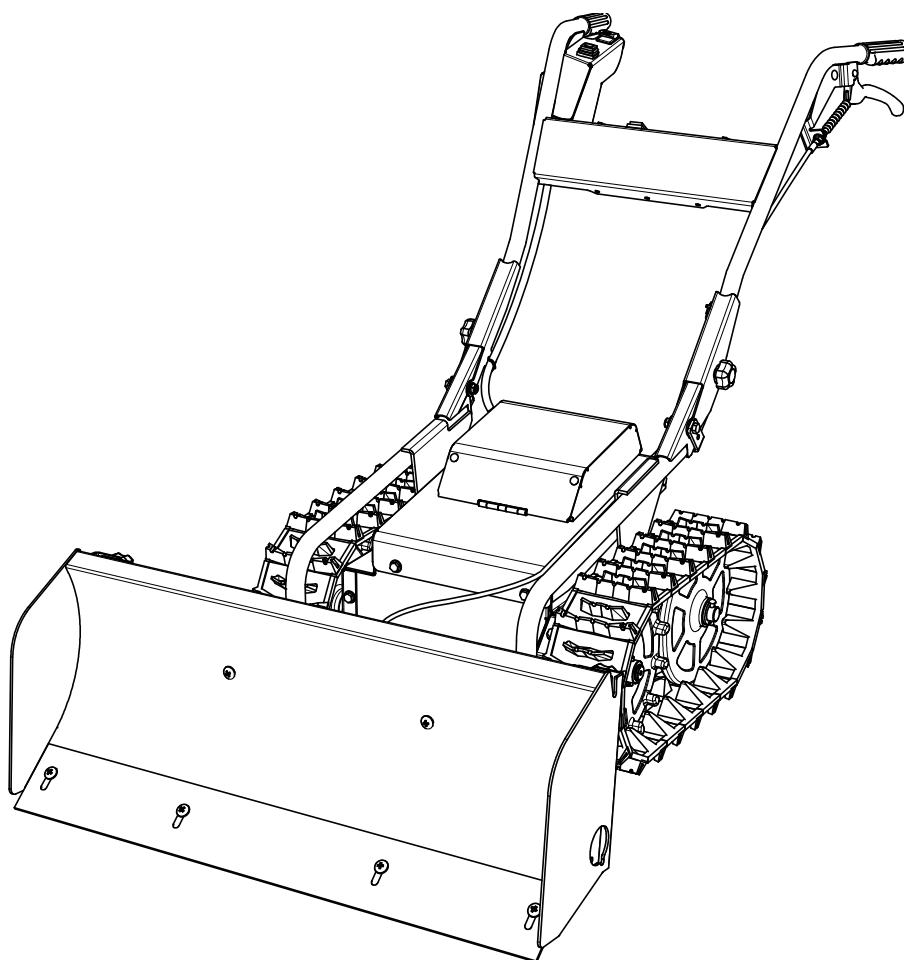
以上で準備完了です。

取扱説明書



除雪機

e- SB81



本製品を安全で正しくお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保管してください。

はじめに

お使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

このたびは、和同除雪機をお買い上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は、機械の取扱い方法と、使用上の注意事項について記載しています。

お願い

- 本機を使用する前に、必ず取扱説明書をよく読んで、十分理解してから使用してください。
- この取扱説明書には、安全に作業していただくために、「1章 安全に作業するために必ずお守りください」を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- お読みになった後も、この取扱説明書を製品に近接して、いつもお手元に置いてください。
- 本製品を貸したり、譲渡するときは、この取扱説明書を本製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書および警告ラベルを、紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店にご注文ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。

おことわり

- 本製品は改良のため、使用部品などを変更することがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、作成にあたり万全を期しておりますが、万一の誤りや記載もれなどが発見されても直ちに修正できないことがあります。販売店へご相談ください。

説明記号の見方



その警告文に従わなかった場合、死亡または、重傷を負うことになるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または、重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

[重要]

誤りやすい操作に対する注意を示します。
守らないと、機械の破損や、故障の原因になります。

[参考]

作業能率を良くしたり、誤った操作をしないための補足説明です。

本製品の使用 目的について

- 本製品は、積雪を除去する除雪作業機としてご使用ください。除雪目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。
- 使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。（保証適用除外事項は、保証書をご覧ください。）

もくじ

はじめに

1 章	安全に作業するために必ずお守りください……………	1
・ 1.	全般の注意項目 ……………	1
・ 2.	バッテリー・充電機器の取扱い注意項目 ……………	4
・ 3.	作業前後の注意項目 ……………	9
・ 4.	輸送時の注意項目 ……………	12
・ 5.	移動・作業時の注意項目 ……………	15
・ 6.	作業終了後・格納時の注意項目 ……………	20
・ 7.	警告ラベルの貼り付け位置 ……………	21
2 章	保証とサービスについて……………	22
3 章	各部のなまえ……………	23
4 章	各操作部のはたらき……………	25
5 章	バッテリー・充電機器の取扱い……………	33
6 章	運転のしかた……………	38
7 章	除雪作業のしかた……………	42
8 章	運搬のしかた……………	43
9 章	始業点検・定期点検……………	45
10 章	点検・整備のしかた……………	47
11 章	長期間使用しないときの手入れ……………	51
12 章	不調診断のしかた……………	54
13 章	主要諸元……………	57
14 章	主要消耗部品・標準付属品……………	58

1 章 安全に作業するために必ずお守りください

ここに記載されている注意事項を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

1. 全般の注意項目



警告

「取扱説明書」や「警告ラベル」をよく読んで。

本機を使用する前に、必ず「取扱説明書」や「警告ラベル」をよく読んで、十分理解してから使用してください。

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損等が生じるおそれがあります。



警告

こんな人は運転しない。

- 酒を飲んだ人
- 妊娠している人
- 運転が未熟な人
- 18歳未満の人
- 操作する体力に自信のない人
- 視力不足のため、表示内容が読めない人
- 取扱説明書の内容が理解できない人
- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない人



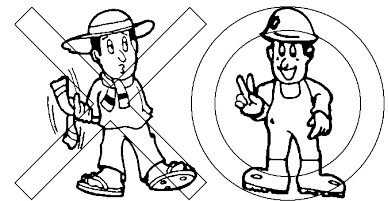
警告

すべりにくい靴・手袋などの作業に適した服装を心がける。

はち巻き、マフラー、その他機械に巻き込まれそうな服装は危険です。ヘルメット、すべり止めの付いた長靴、手袋を着用し、作業しやすい、だぶつきのない服装にしてください。

【守らないと】

衣服が機械に巻き込まれたり、足をすべらせて転倒事故をまねくおそれがあります。



警告

除雪目的以外の作業は絶対に禁止。

本機は除雪機です。除雪目的以外の作業は絶対にしないでください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の故障をまねくおそれがあります。
除雪以外の作業は保証の対象外です。



機械を他の人に貸すときは取扱説明書を読むように指導する。

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

理解不足により死亡事故や重大な傷害、機械の故障をまねくおそれがあります。



機械の改造や指定以外のアタッチメントの装備禁止。

改造や指定以外のものを装備しないでください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の故障をまねくおそれがあります。

改造を施したものは保証の対象外です。



機械の中に手を入れない。

カバーの内側には回転部や可動部があり、むやみに手などを入れると大変危険です。やむをえないときは必ずバッテリーを外してから行なってください。

【守らないと】

回転物などに巻き込まれ、傷害事故をまねくおそれがあります。



機械の上に物を置かない。

機械の上に物置いたり載せたりしないでください。

【守らないと】

機械の故障や思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



高圧洗浄機を使用しない。

本機を洗う際には高圧洗浄機を使用しないでください。

【守らないと】

- ・電気配線部被覆の損傷、断線により、火災をおこすおそれがあります。
- ・電装品への水の浸入により、故障するおそれがあります。
- ・機械が破損、損傷、故障するおそれがあります。
- ・塗装、メッキ、ラベルが剥がれるおそれがあります。



電装品に水をかけない。

電装品に水をかけないでください。

【守らないと】

- ・機械の誤動作により、傷害事故をおこすおそれがあります。
- ・電装品の故障の原因になります。



作業場所の視界が悪いときは作業しない。

本機は作業灯が装備されていません。夜間などの暗い場所や、悪天候時など視界が悪いときは、作業を行わないでください。万が一作業中に悪天候に見舞われた際は、周囲に十分気を付けて低速で移動してください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故を引き起こすおそれがあります。



塩害・塵灰害・化学ガスの被害を受けやすい場所では使用・保管しない。

塩害・塵灰害・化学ガスの被害を受けやすい場所では、本機・バッテリー・充電機器を使用・保管しないでください。

【守らないと】

感電、過熱、発火などの傷害事故を引き起こすおそれがあります。

2. バッテリー・充電機器の取扱い注意項目



必ず指定のバッテリーと充電機器を使用する。

必ず指定した充電機器で指定したバッテリーを充電してください。絶対に他社製品や類似品で充電しないでください。また、充電機器は指定したバッテリー以外の用途には使用しないでください。

【守らないと】

発熱、破裂、発火のおそれがあります。

※指定のバッテリーと充電器はP.58を参照



高温・低温・多湿になる場所で充電しない。

気温が10～45℃の場所で充電してください。直射日光の当たる場所や暖房機器の近くなど高温になる場所では充電しないでください。

【守らないと】

破裂や液漏れによる傷害事故を引き起こしたり、故障するおそれがあります。



充電機器が濡れた状態で使用しない。

建物の電源コンセントや充電機器は濡れた手で触れないでください。また、それらが濡れている場合も、手を触れないでください。

【守らないと】

感電、過熱、発火のおそれがあります。



バッテリーは濡らさない。

バッテリーは濡らさないでください。万が一水没などした場合は、直ちにバッテリーの使用を中止し、本機や充電機器から取外し、その後は使用しないでください。

【守らないと】

感電、過熱、発火などの傷害事故を引き起こすおそれがあります。



バッテリーのプラス端子とマイナス端子をショートさせない。

バッテリーのプラス端子とマイナス端子を金属で接続しないでください。また、バッテリーをネックレスやヘアピン、コイン、鍵などの電気を通すものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

【守らないと】

発熱、破裂、発火のおそれがあります。



充電機器の接続部に金属を接触させない。

充電機器の接続部に他の金属類を差し込んだり、接続したりしないでください。

【守らないと】

感電、過熱、発火のおそれがあります。



静電気に注意する。

バッテリーや充電機器を取扱う際は、乾いた布などで清掃したり、身体に静電気が帯電した状態で使用したりしないでください。

【守らないと】

故障、破裂などを引き起こすおそれがあります。



分解・改造しない。

バッテリーと充電機器は、分解したり改造したりしないでください。

【守らないと】

発熱、破裂、発火のおそれがあります。

分解・改造を施したものは保証の対象外です。



強い衝撃を与えない。

バッテリーと充電機器は、落下させたり投げ飛ばしたりなどで、強い衝撃を与えないでください。

【守らないと】

変形や保護回路の故障により、発熱、破裂、発火のおそれがあります。



重いものを乗せたり落下しやすいところに置いて使用・保管しない。

バッテリーや充電機器に重いものを乗せたり、落下しやすいところに置いて使用・保管しないでください。

【守らないと】

感電、過熱、火災、落下等による傷害事故をまねくおそれがあります。



電源コンセントから抜くときはコードを引っ張らない。

A C ケーブルを建物の電源コンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

【守らないと】

コードが破損し、感電、過熱、発火のおそれがあります。



充電機器のコードは無理に曲げたり物に乗せたりしない。

充電機器のコードは、無理に曲げたり、上に物に乗せたりしないでください。

【守らないと】

コードが破損し、感電、過熱、発火のおそれがあります。



密閉した状態でバッテリーを充電しない。

バッテリーや充電機器の周辺に密集して物を置いたり、シートを覆いかぶせたりなど、密閉した状態で充電しないでください。

【守らないと】

過熱により火災や故障を引き起こすおそれがあります。



充電機器のコードに異常がないかを確認する。

充電機器のコードのヒビ割れ、芯線の切れかけ、芯線の腐食がないかを確認してから使用してください。異常が見られた場合には、電源プラグをコンセントから抜き、新しいものに交換してください。

【守らないと】

感電、過熱、発火のおそれがあります。



異常を感じたら直ちに使用を中止する。

バッテリーの使用申および充電中に、異臭、発熱、変形、その他の異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、本機や充電機器から取外して、その後は使用しないでください。

【守らないと】

発熱、破裂、発火のおそれがあります。



充電機器のゴミは取り除く。

建物の電源コンセントや充電機器に埃やゴミ、その他異物がないことを定期的に確認してください。埃やゴミがある場合は取り除いてください。

【守らないと】

過熱、発火のおそれがあります。



お子様の手の届く場所で使用・保管しない。

バッテリーと充電機器は、お子様の手の届かない場所で、落下などの心配が無い安全な場所で使用・保管してください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



充電しないときは電源コンセントから電源プラグを抜く。

充電後や充電しないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

【守らないと】

感電、過熱、発火のおそれがあります。



本機にバッテリーを搭載したまま充電しない。

本機にバッテリーを搭載したまま充電しないでください。

【守らないと】

バッテリーの発熱、破裂、発火により、本機の故障や火災を引き起こすおそれがあります。

3. 作業前後の注意項目



機械の下にもぐったり、足を踏み入れない。

機械の下にもぐったり、足を踏み入れたりしないでください。

【守らないと】

何かの原因で機械が動いたときに、傷害事故をおこすおそれがあります。



電装部品・電装ハーネスは必ず点検。

電装ハーネスが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災の原因となることがあります。



バッテリー周辺のゴミは取り除く。

バッテリー周辺部にゴミなどが付着していないか作業前に点検し、付着していれば取り除いてください。

【守らないと】

火災事故やオーバーヒートを引き起こすおそれがあります。



作業する場所の異物はあらかじめ取り除く

あらかじめ作業する場所の石・木片・ビニール・ビン・カン・ホース・ナワ・布切れ・およびその他の異物をすべて取り除いてください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



点検整備は平坦で安定した場所で行う。

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



指定された同容量のヒューズを使用する。

必ず指定された同容量のヒューズを使用してください。

【守らないと】

火災が発生し傷害事故を引き起こすおそれがあります。



ヒューズが切れた原因を確認して不具合を解消してから交換する。

ヒューズを交換の際は、必ず原因を確認して、不具合を解消してから指定のヒューズに交換してください。同様の不具合で再びヒューズが切れる場合があります。

【守らないと】

火災が発生し傷害事故を引き起こすおそれがあります。



本機の不具合が解消しないまま作業を行わない。

【守らないと】

本機の故障や思わぬ傷害事故を引き起こすおそれがあります。



注意

カバー類は必ず取付ける。

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



注意

機械の点検整備・清掃などをするときはバッテリーを取外す。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となります。



注意

作業前・後は必ず機械の点検をする。

使用の前と後には必ず機械の点検をしてください。特にレバーなどの操作装置は確実に作動することを確認してください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障を引き起こすおそれがあります。



注意

点検整備は高温部が十分に冷めてから。

モーターなどの高温部が十分冷めてから点検整備をしてください。

【守らないと】

火傷をするおそれがあります。

4. 輸送時の注意項目



トラックへの積み降ろし時は、強度・幅・長さが十分なアユミ板を使用する。

アユミ板は丈夫ですべり止めのある、基準にあったものを使用してください。
(P.43参照)

【守らないと】

アユミ板が折れたりして、転落などの事故をまねくおそれがあります。



平坦で安定した、交通などの危険のない場所で積み降ろす。

平坦で安定した、交通などの危険のない場所で積み降ろしてください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。

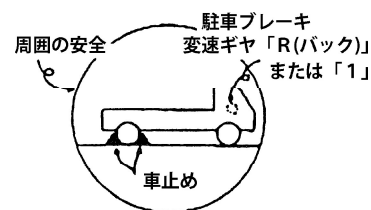


トラックには必ず車止めを。

積み込むトラックのエンジンを止め、変速レバーは「P」または、「1」・「R」位置に入れ、駐車ブレーキをかけて、車止めを設置してください。

【守らないと】

トラックが動いて転落などの事故などをまねくおそれがあります。



アユミ板を適切に固定する。

アユミ板は、機械の走行部の幅に合わせて適切に配置し、積み降ろしに使用するトラックの荷台からズレたり外れたりしないように確実に固定してください。

【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。



積み降ろし作業は、誘導者を配置。

トラックなどからの積み降ろし作業は、誘導者を配置、周囲の安全を十分に確認してください。

【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。



本機の前後へは人を立ち入らせない。

【守らないと】

機械が不意に動いたときに、思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



積み込むときは前進、降ろすときは後進で。

トラックへ積み込むときは前進で、降りるときは後進で行なってください。

【守らないと】

転落やひかれ・挟まれなどの事故をまねくおそれがあります。



地面とアユミ板の継ぎ目は慎重に走行する。

地面とアユミ板の継ぎ目を走行する際に、エッジがアユミ板に接触しそうな場合は、ハンドルを押し下げて、エッジがアユミ板に接触しない状態で最低速度で慎重に走行してください。

【守らないと】

エッジがアユミ板に衝突し、バランスを崩して転落やひかれ・挟まれなどの事故をまねくおそれがあります。



アユミ板の上を走行する時は、ブレード上昇させる。

トラックへの積み降ろしでアユミ板の上を走行する際は、エッジがアユミ板に衝突しないようにブレードを上昇させてください。

【守らないと】

エッジがアユミ板に衝突し、バランスを崩して転落やひかれ・挟まれなどの事故をまねくおそれがあります。



アユミ板の上では、進行方向の変更、速度の変更、停車、角度切替操作は厳禁。

積み降ろしの際は、アユミ板の上で進行方向を変更をしないようにあらかじめ方向を定めて、低速で慎重に走行してください。アユミ板の上では、車速切替スイッチや走行レバーでの速度の変更、停車、ブレード角度切替レバーの操作などはしないでください。

【守らないと】

転落やひかれ・挟まれなどの事故をまねくおそれがあります。



アユミ板と荷台の継ぎ目は慎重に走行する。

アユミ板と荷台の継ぎ目をのり越える際は最低速度で慎重に走行してください。

【守らないと】

急激に機械の姿勢が変わり、バランスを崩して転落やひかれ・挟まれなどの事故をまねくおそれがあります。



ロープで確実に固定する。

トラックなどにのせて移動するときは、本体フレームやブレードなどの強固かつ機体が安定する部位を、十分に強度のあるロープなどを用いてトラックに確実に固定してください。

【守らないと】

荷台から機械が転落したり、事故をまねくおそれがあります。

5. 移動・作業時の注意項目



危険

走行レバーを改造したり、固定した状態で運転しない。

【守らないと】

安全装置が正常に作動しません。本機が停止せず、ひかれ・挟まれなどによる死亡事故を引き起こすおそれがあります。



警告

回転部に手・足・顔を近づけない。

回転している部分をのぞき込んだり、手・足・顔を絶対に近づけないでください。

【守らないと】

機械へ巻き込まれて、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



警告

運転時はバッテリーロックを「LOCK」位置にする。

運転をする際は、必ずバッテリーロックを「LOCK」位置にしてください。

【守らないと】

思わぬ衝撃や転倒などによりバッテリーが脱落し、機械の故障および本機や脱落したバッテリーが発火し火災を引き起こすおそれがあります。



警告

つまった雪や異物を取除くときは、本機の電源を切る。

【守らないと】

機械に巻き込まれて死亡事故や重大な事故をまねくおそれがあります。



後進するときは速度を落として障害物に注意する。

後進するときは速度を落として、転倒しないように足元に十分に注意し、後方に障害物がないか確認して、障害物と機械の間に挟まれないようにしてください。

【守らないと】

機械に挟まれたり、転倒などの重大事故のおそれがあります。



凍結時は十分に注意し速度を落とす。

凍結した滑りやすい路面ではなるべく作業しないでください。やむをえない場合は、足元に十分注意し速度を落として行ってください。

【守らないと】

転倒事故などを引き起こすおそれがあります。



傾斜面は走行注意。

急な傾斜面は走行しないでください。緩やかな傾斜面を走行する場合は、転倒やスリップに気を付けて、速度を落として移動してください。旋回する場合は、横転に注意して、低速で緩やかな旋回の操作をしてください。

【守らないと】

機械の横転、暴走など思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



傾斜面を横切る向きで作業は行わない。

【守らないと】

転倒事故を引き起こすおそれがあります。



傾斜面では停車および駐車禁止。

傾斜面の途中で停車および駐車しないでください。

【守らないと】

滑り落ちたり、転倒などの事故を引き起こすおそれがあります。



急発進・急旋回・急停止やスピードの出しすぎ禁止。

発進・停止は緩やかに行ってください。旋回するときは、十分に速度を落としてください。また、凸凹道やカーブの多い場所では十分に速度を落としてください。

【守らないと】

機械の破損、事故の原因となることがあります。



機械から離れるときは、平坦地に置き、本機の電源を切りバッテリーを取外す。

長時間機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、本機の電源を切り、バッテリーを取外してください。

【守らないと】

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



機械の異常に気付いたらすぐに本機の電源を切る。

異物が当たったり、巻き付いたり、異常振動・異音・異臭などに気付いたら、すみやかに本機の電源を切り、高温部が冷めた後にバッテリーを取外し、機械を点検してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の故障をまねくおそれがあります。



除雪作業中は機械のまわりに人や動物を近寄らせない。

除雪作業中は機械のまわりに人や動物を近寄らせないでください。特にお子様やペットなどには十分に注意してください。

【守らないと】

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



わき見運転・手放し運転禁止。

【守らないと】

機械の破損や思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



燃えているものの上やその近くは走行禁止。

【守らないと】

火災を引き起こすおそれがあります。



むやみに前輪を浮かせない。

ハンドルを押し下げて、むやみに前輪を浮かせた状態にしないでください。

【守らないと】

転倒など思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



周囲の安全を確かめ低速で発進する。

周囲の安全を確認して低速で発進してください。

【守らないと】

思わぬ事故をまねくおそれがあります。



移動時は側溝や路肩に注意。

側溝のある道路や路肩が大きく傾斜している道路では、十分に注意し走行してください。

【守らないと】

転落事故を引き起こすおそれがあります。



砂利道では運転注意。

砂利道を除雪する場合、石飛びや、凹凸によるブレードの跳ね上げや振動などのおそれがあるため、細心の注意を払い作業してください。

【守らないと】

機械の破損や思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



ブレードやクローラー周辺に異物が付着したときは本機の電源を切り、すぐに取除く。

ブレードやクローラー周辺に異物が付着したときは、本機の電源を切りすぐに取除いてください。異物が付着したまま作業を行わないでください。

【守らないと】

機械の破損や思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

6. 作業終了後・格納時の注意事項



危険

シートなどは機械が十分に冷めてからかける。

シートなどをかけるときは、本機の高温部が十分に冷めてから行ってください。

【守らないと】

火災事故を引き起こすおそれがあります。



警告

作業終了・格納時は、平坦地に置き、本機の電源を切り
バッテリーを取外す。

作業終了時・格納時は、平坦で安定した場所に置き、本機の電源を切り、バッテリーを取外してください。

【守らないと】

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



警告

本機を立てた状態で保管しない。

ブレードを下向きにした状態や本機を左右に横転させた状態など、本機を立てた状態で保管しないでください。

【守らないと】

本機が転倒し、機械の破損や思わぬ傷害事故を引き起こすおそれがあります。



注意

定期点検・整備を受けてください。

本機をいつも正常な状態で使用するために、1年ごとに定期点検を受け、各部の保守をしてください。

【守らないと】

整備不良による事故や、機械の故障を引き起こすおそれがあります。

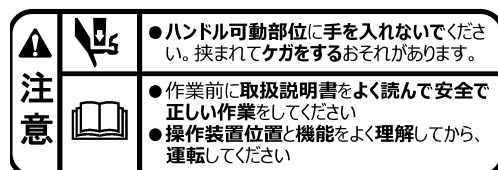
7. 警告ラベルの貼り付け位置

警告ラベルは、使用者および周囲の人への危険を知らせる重要なものです。

- ・ラベルが損傷した場合はできるだけ早く貼り替えてください。なお、注文の際には、この図に示す部品番号をお知らせください。
- ・本機を洗う際は、高圧洗浄機を使用しないでください。高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。

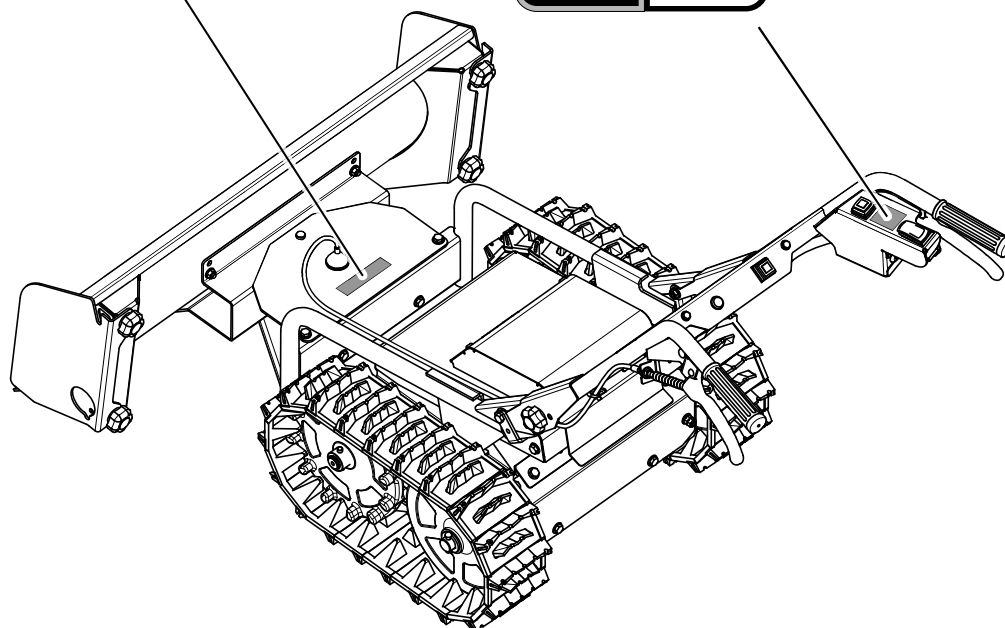
品番：79908-BA4-000

品名：可動部挟まれ・取説注意ラベル



品番：79903-BA4-000

品名：操作ラベル



2章 保証とサービスについて

保証書は大切に保管してください

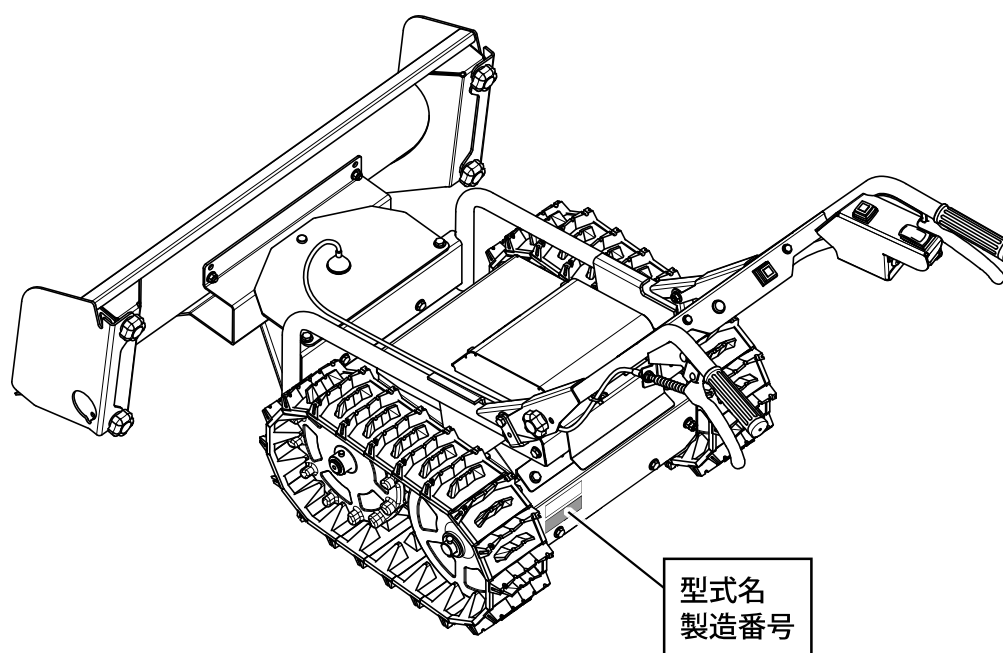
「保証書」は、お客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスをお受けになるときは

本機の調子が悪いときは、P. 54の「12章 不調診断のしかた」に従って、点検・処置してください。不具合が解消しないときは、下記の点を明確にして、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

<連絡していただきたい内容>

- 型式名と製造番号
- 普段のご使用状況は？
(車速、気温、雪の状態、作業者 など)
- どのくらい使用されましたか？
(約□□時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。
(車速や、どんな作業をしていたときか など)



補修部品の供給年限について

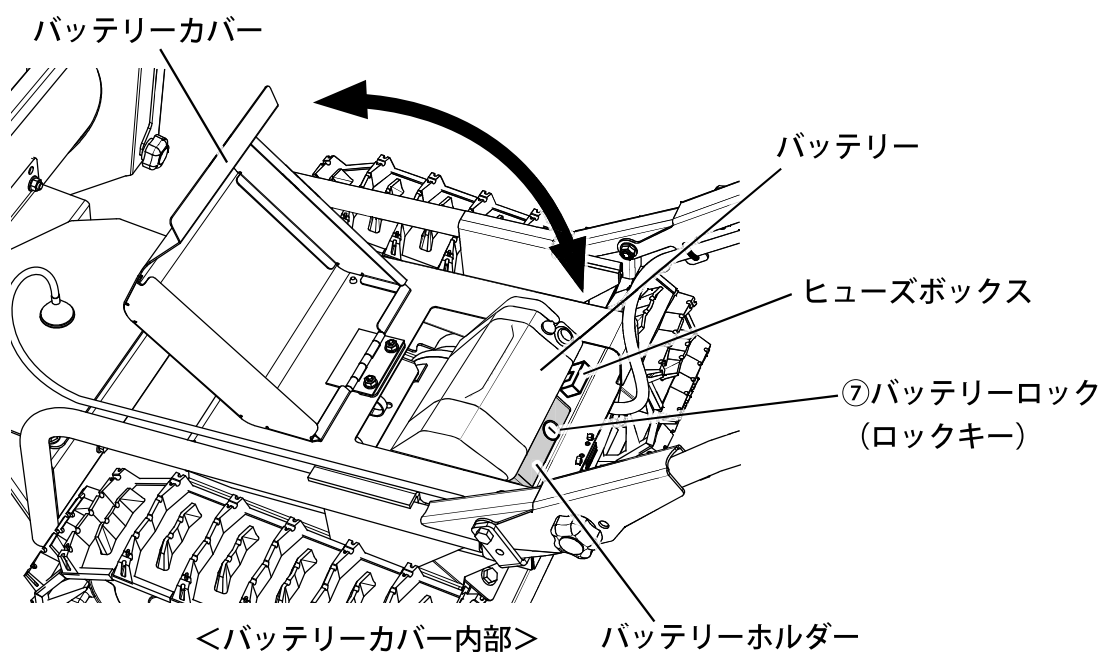
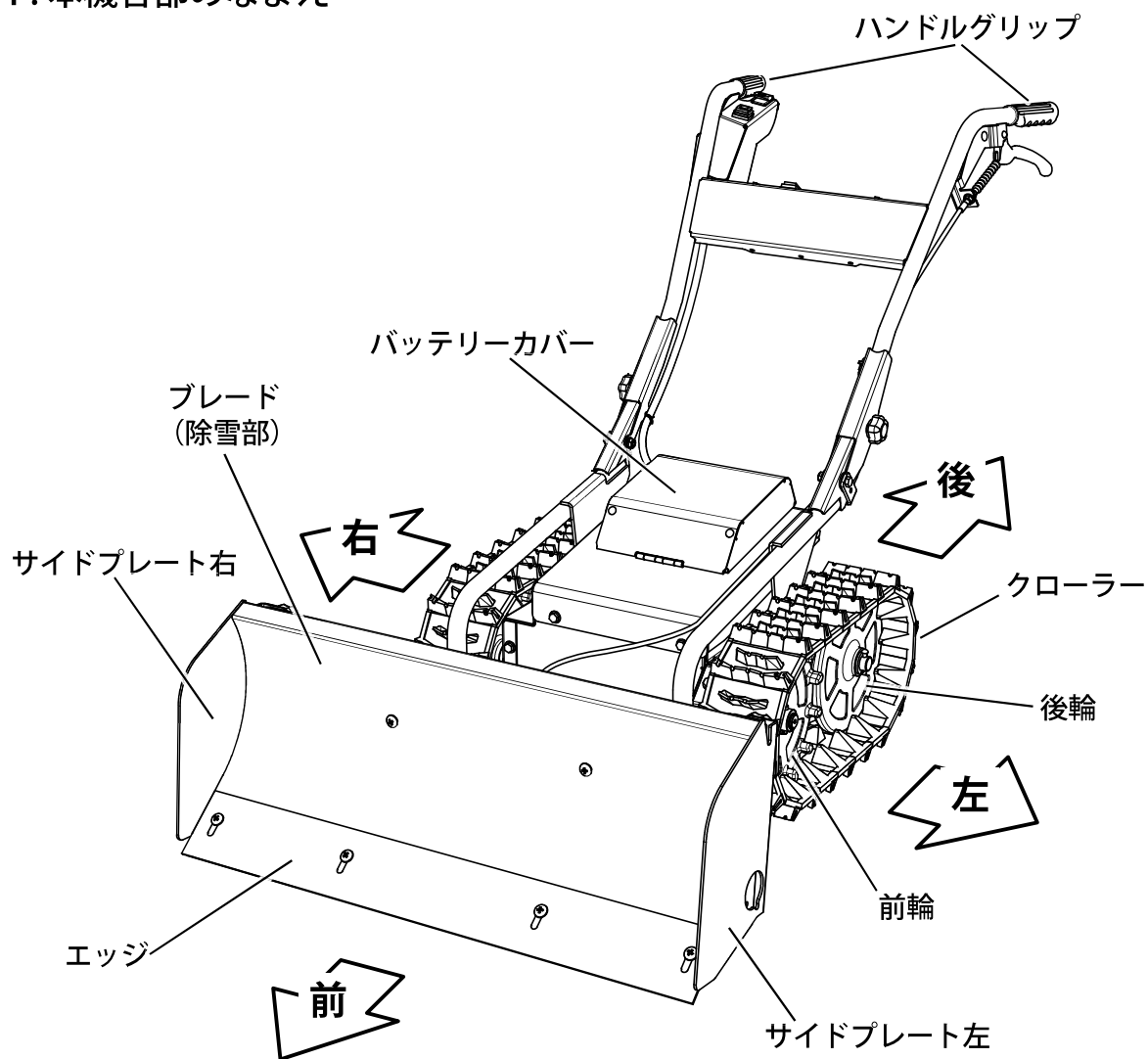
本製品の補修用部品の供給年限(期間)は、原則として製造打ち切りから9年以内です。

ただし、供給年内でも納期などをご相談させていただく場合がございます。

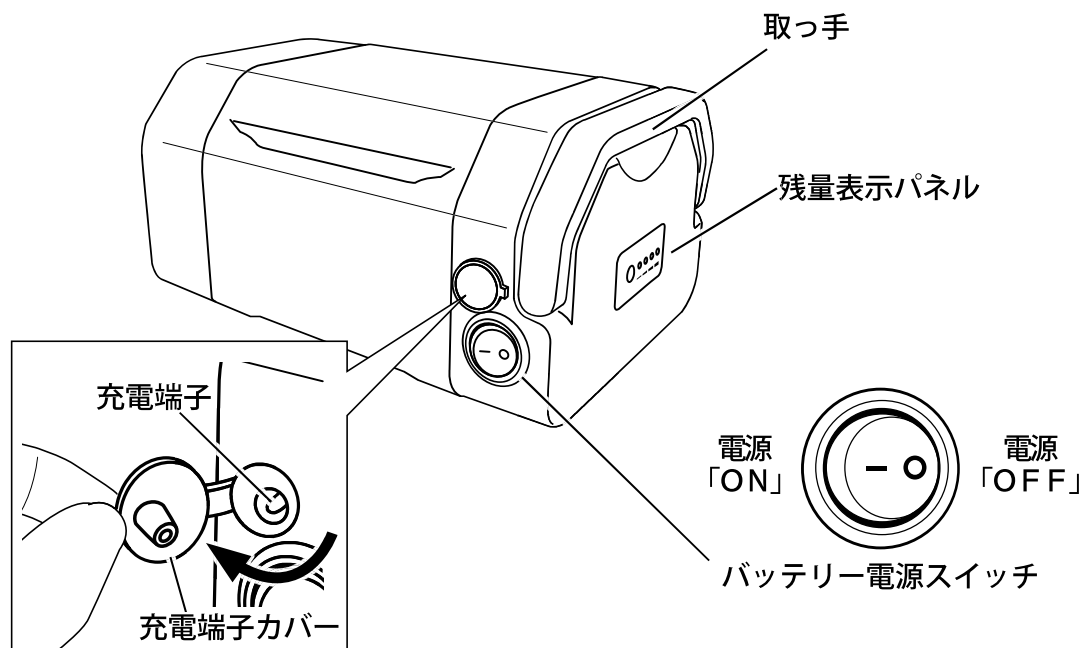
また9年以上経過した場合でも、ご要請の内容により、納期および価格をご相談のうえ対応させていただく場合がございます。

3 章 各部のなまえ

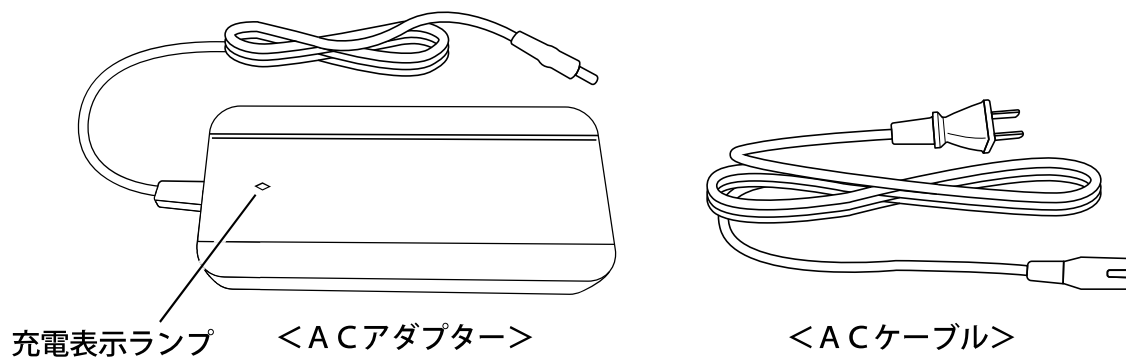
1. 本機各部のなまえ



2. バッテリー各部のなまえ (バッテリー取扱いの詳細はP.33～P.37参照)

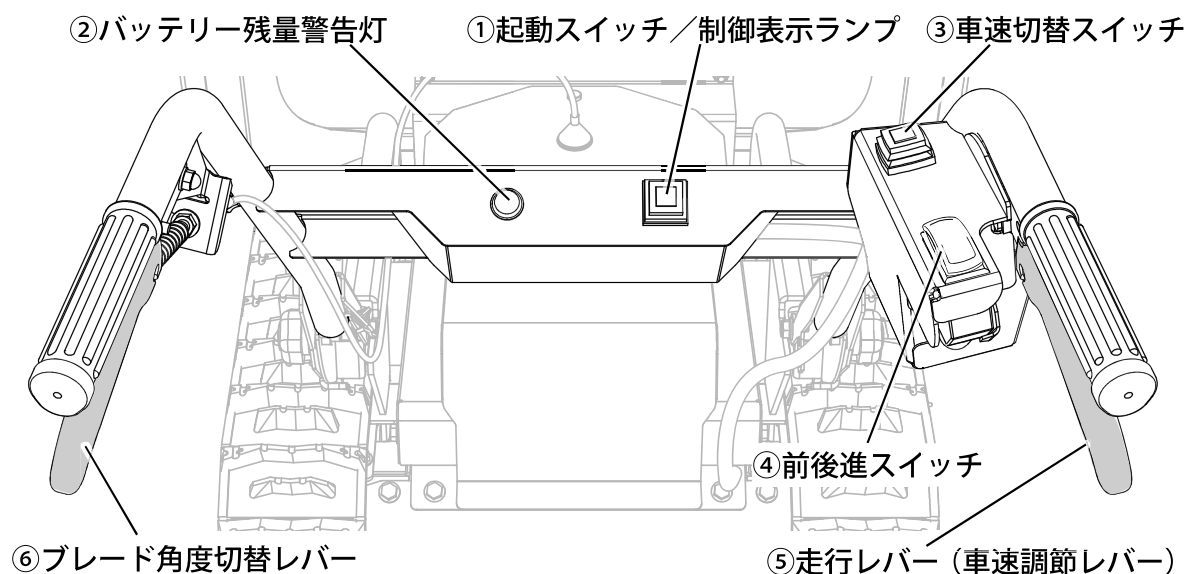


3. 充電機器各部のなまえ



4章 各操作部のはたらき

1. 各操作部のはたらき



① 起動スイッチ／制御表示ランプ

本機の電源を入れる・切るときに操作します。

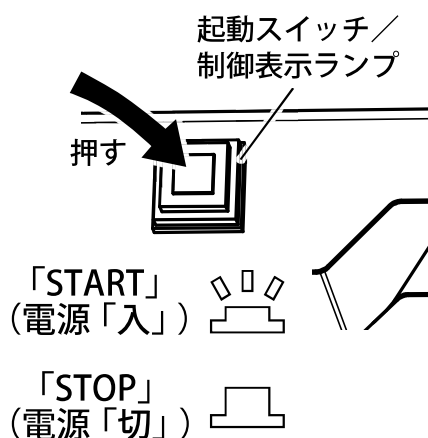
スイッチを押すと「START」・「STOP」と交互に切替わります。

また、スイッチのランプの点灯・点滅・消灯で各種制御による状態を表示します。

<起動スイッチの操作>

「START」・・・本機の電源を入れる位置です。スイッチが押された状態で、各電気系統がつながりスイッチのランプが点灯します。

「STOP」・・・本機の電源を切る位置です。スイッチが戻った状態で、スイッチのランプが消灯します。



<制御表示ランプの点滅 エラー表示について>

エラーが発生した場合はスイッチのランプが点滅します。点滅回数により発生しているエラーを表示します。（P.56 参照）

[参考]

バッテリー電源スイッチが「OFF」位置のときは、起動スイッチを押して「START」位置にしても本機の電源が入りません。

② バッテリー残量警告灯

バッテリー残量によって表示が変わります。

バッテリーの残量が減少すると、ランプが点灯、点滅します。

点灯・・・ 残り稼働時間（目安）10～20分

点滅・・・ 本機の停止、要充電

[参考]

ランプが点灯してから本機が停止するまでの時間は、ご使用される作業環境や作業方法によって異なります。

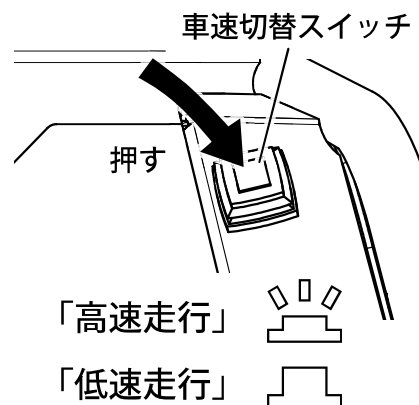
③ 車速切替スイッチ

機体の車速を切替えます。

スイッチを押すと「高速走行」・「低速走行」と交互に切替わります。

「高速走行」・・・ スイッチが押された状態です。
スイッチのランプが点灯します。
除雪作業時に使用します。

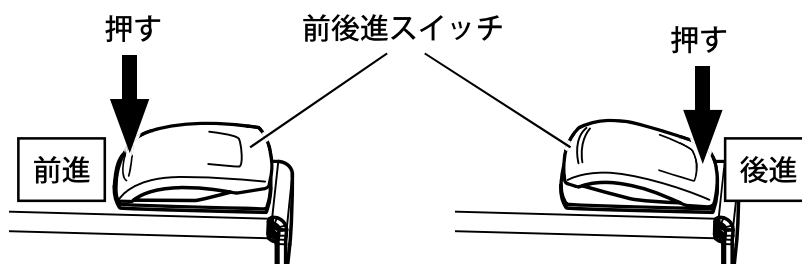
「低速走行」・・・ スイッチが戻った状態です。
スイッチのランプが消灯します。
積み降ろしや慎重に作業したい
ときに使用します。



④ 前後進スイッチ

機体の前後進を切替えるときに操作します。

走行レバーを握ったときに、前後進スイッチの押された位置によって機体が前進・後進します。



[参考]

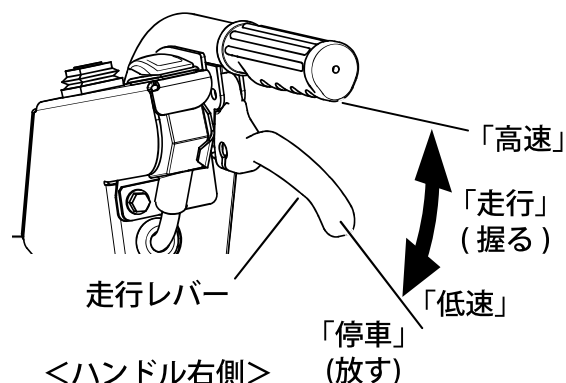
本機には後進時に機械に挟まれるのを防止する機能が備わっています。後進中に走行部に一定の負荷が加わるとクローラーが停止します。更にこの状態で一定時間クローラーが停止し続けると、制御表示ランプが点滅して本機が停止します。

⑤ 走行レバー（車速調節レバー）

本機を走行させるときに操作します。

走行レバーの握り具合で速度を無段階に調節できます。

走行レバーを握っているあいだは機体が走行し、走行レバーを放すと本機が停車します。



⚠ 危険

走行レバーを改造したり、固定した状態で運転しないでください。安全装置が正常に作動しません。本機が停止せず、ひかれ・挟まれなどによる死亡事故を引き起こすおそれがあります。



【参考】

走行レバーには本機の電源を入れたときの誤発進を防止する機能が備わっています。

走行レバーを握ったままの状態では、本機の電源を入れたとき、起動スイッチが短い間隔で点滅し、握っているあいだは走行しません。

この状態から走行レバーを放すと、起動スイッチの点滅が点灯に変わり、通常操作が可能になります。

【重要】

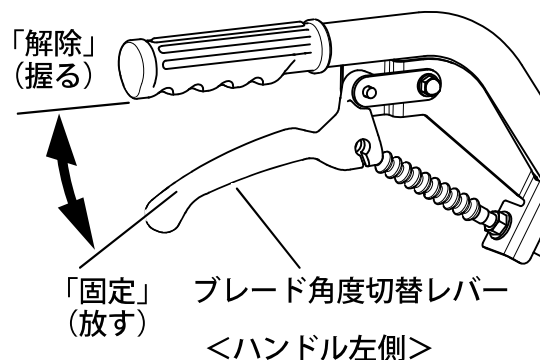
走行レバーを握ったままの状態から本機の電源を入れた直後に本機が走行する場合は、本機が故障している可能性があります。そのまま使用せずに、すみやかにお買い上げいただいた販売店へ修理を依頼してください。

⑥ ブレード角度切替レバー

ブレードの角度を切替えるときに操作します。

ブレード角度切替レバーを握ると、握っているあいだはブレードを左右に動かすことができます。

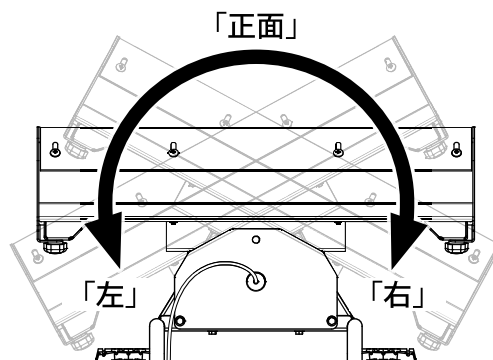
ブレード角度切替レバーを放すと、ブレードが固定されます。



＜ブレードの角度切替え操作＞

ブレードの角度は「正面（0°）」「左（30°）」「右（30°）」の3方向に切替えができます。

- 1) 本機の左側に身体を移動し、右手でブレード角度切替レバーを握ります。
- 2) ブレード角度切替レバーを握ったまま、左手でブレードもしくはサイドプレートを持ち「正面」「左」「右」のいずれかにブレードを傾けます。
- 3) ブレード角度切替レバーを放し、手でブレードを軽く揺らして、ブレードが確実に固定されていることを確認します。

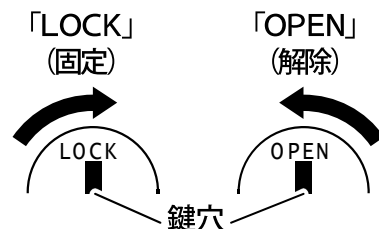
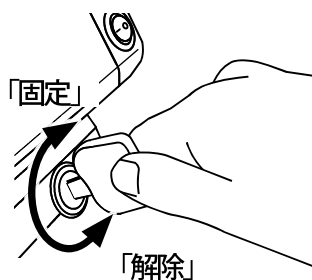
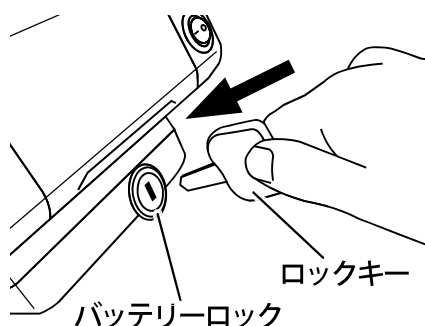


⑦ バッテリーロック

ホルダーに搭載された鍵でバッテリーの脱落を防止します。

鍵穴に付属のロックキーを差込み180°回すことでバッテリーを固定・解除します。

それぞれ「LOCK」「OPEN」位置でロックキーの抜き差しができます。



現在の固定状態は、鍵穴上部の表示で確認できます。



警告

運転をする際は、必ず本機のバッテリーロックを「LOCK」位置にしてください。守らないと、思わぬ衝撃や転倒などよりバッテリーが脱落し、機械の故障および本機や脱落したバッテリーが発火し火災を引き起こすおそれがあります。

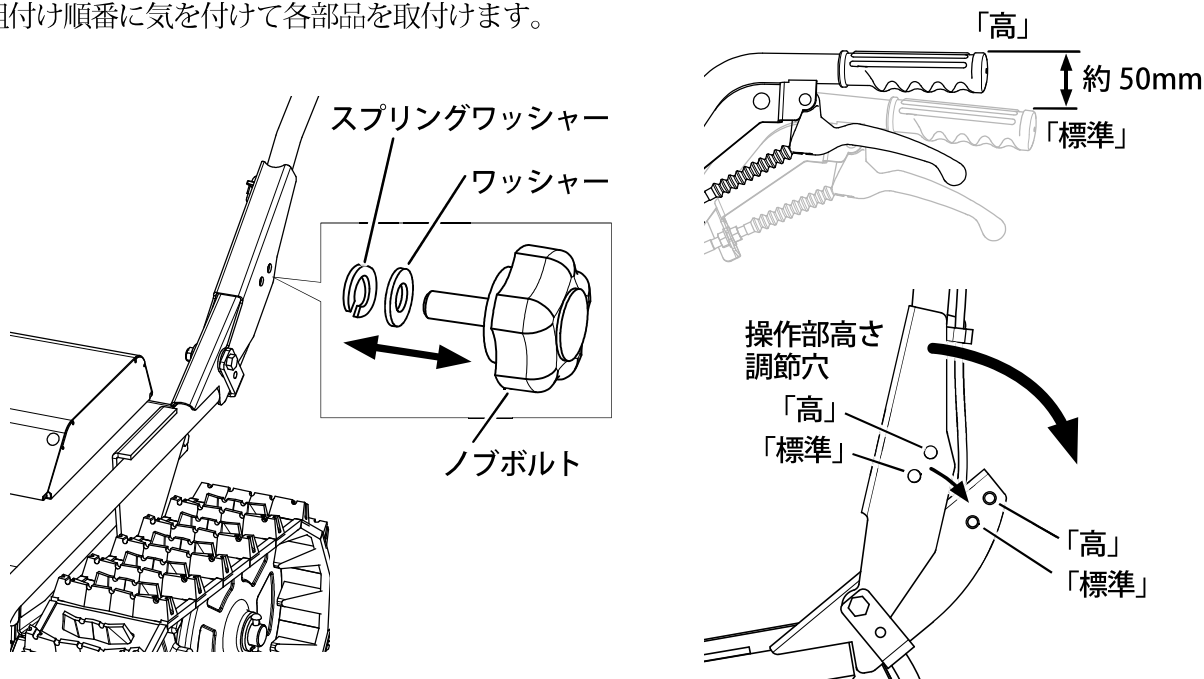
【重要】

ロックキーは操作後に抜いてください。キーホルダーなどが取付けられたロックキーを差込んだままバッテリーカバーを閉じると、カバーやキーホルダーが破損するおそれがあります。

2. 操作部の高さ調節

操作部の高さを「標準」「高」の2段階に調節できます。

固定しているノブボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを一度取外して、下図を参考に、組付け順番に気を付けて各部品を取付けます。



- 【重要】**
- ・ワッシャーとスプリングワッシャーの組付け順番を間違えると、ノブボルトが緩みやすくなります。
 - ・ワッシャーやスプリングワッシャーは紛失しないように注意してください。

3. サイドプレート（左／右）の装備・格納

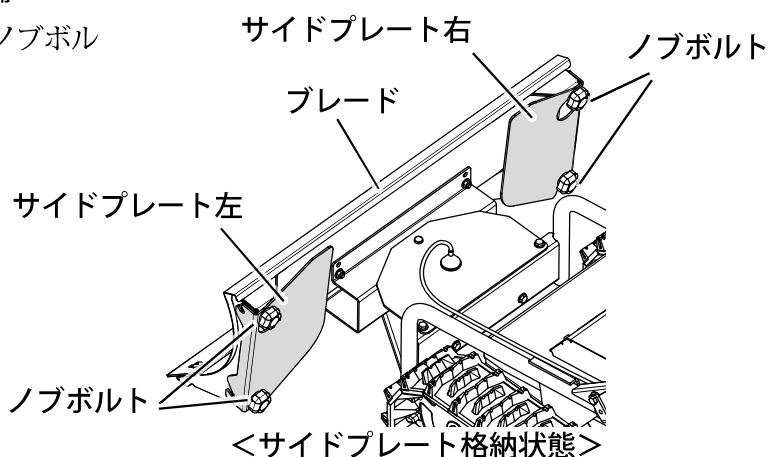
ブレードの左右に取付けられたサイドプレート（左／右）は除雪方法にあわせて装備・格納します。

装備・・・正面の雪を押す際に左右に取付けます。左右への雪漏れを防止します。

格納・・・ブレードを左右に傾けて雪を寄せて作業する際に使用します。

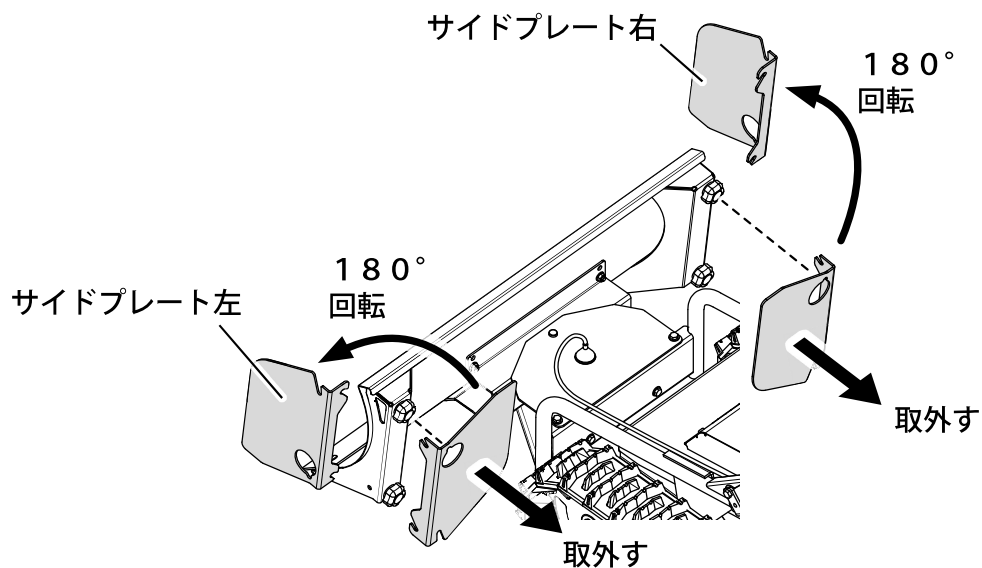
＜サイドプレート（左／右）の装備＞

- 1) サイドプレートを固定しているノブボルトを緩めます。

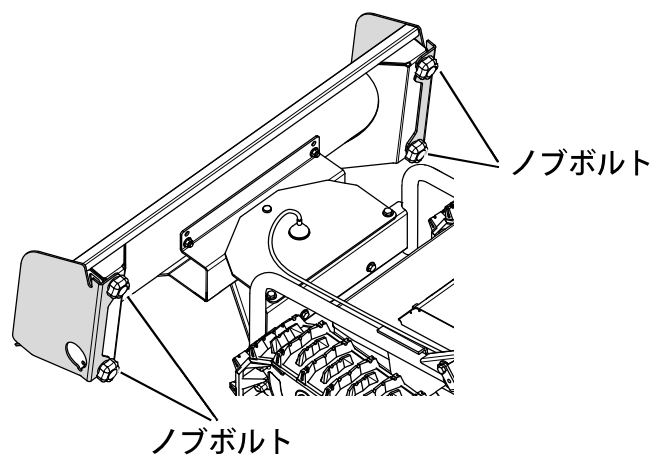


4章 各操作部のはたらき

2) サイドプレート（左／右）をブレードから取外して、上下180° 回転させます。

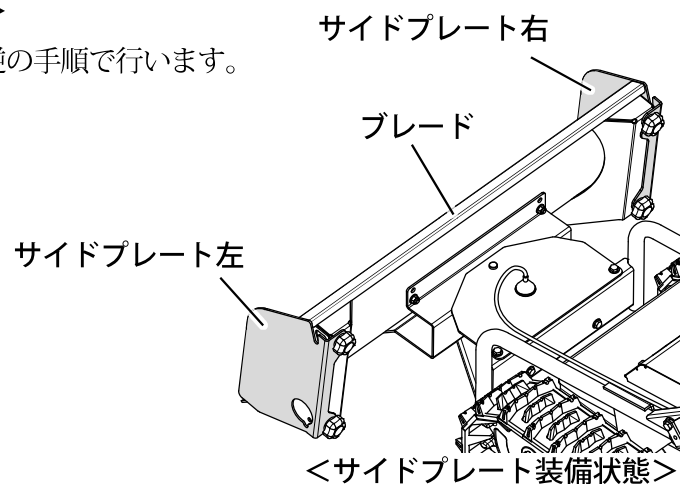


3) ノブボルトのネジ部に引っ掛けるようにサイドプレート（左／右）をセットして、緩まないようにノブボルトで確実に締付けます。



<サイドプレート（左／右）の格納>

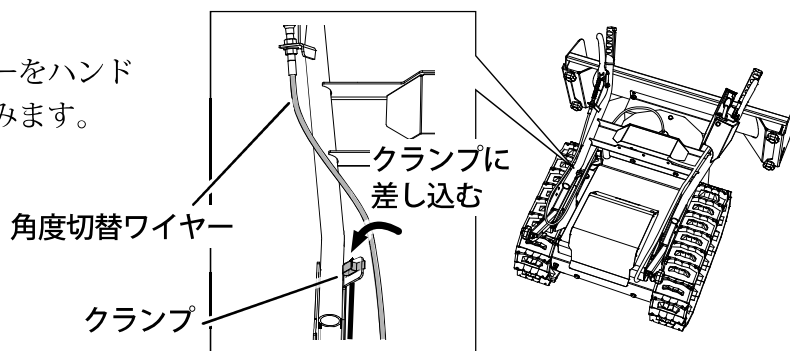
サイドプレート（左／右）の装備と逆の手順で行います。



4. ハンドルの組立て

<ハンドルの起こしかた>

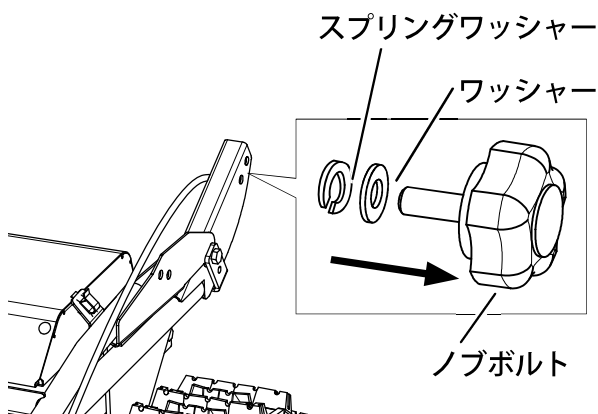
- 1) 機体左側の角度切替ワイヤーをハンドル左側のクランプに差し込みます。



- 2) 機体後側のノブボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを取外します。

【重要】

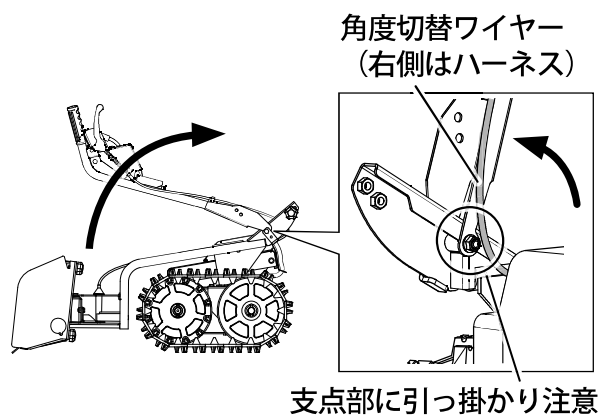
各部品を紛失しないように注意してください。



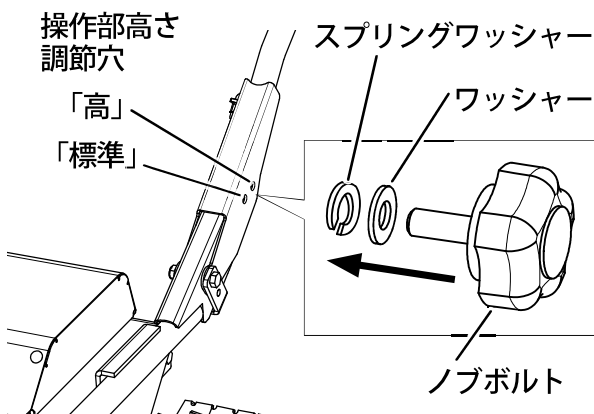
- 3) ハンドル全体をゆっくりと起こします。

【重要】

ハンドルを起こす際に、ハンドル支点部にワイヤーとハーネスを引っ掛けないように注意してください。



- 4) 操作部高さ調節穴にノブボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを取付けます。(操作部の高さ調節はP.29参照)

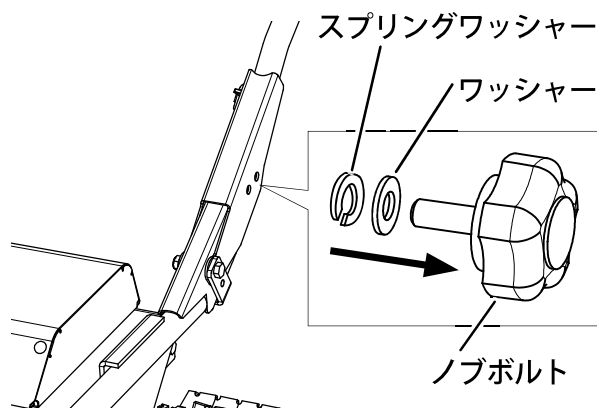


＜ハンドルの折りたたみかた＞

- 1) 機体後側のノブボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを取外します。

【重要】

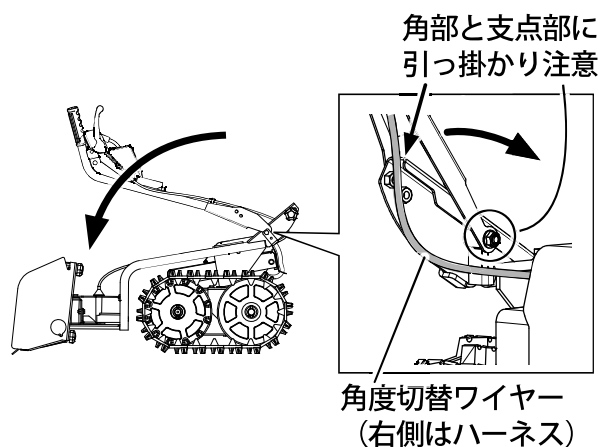
各部品を紛失しないように注意してください。



- 2) ハンドル全体をゆっくりと倒します。

【重要】

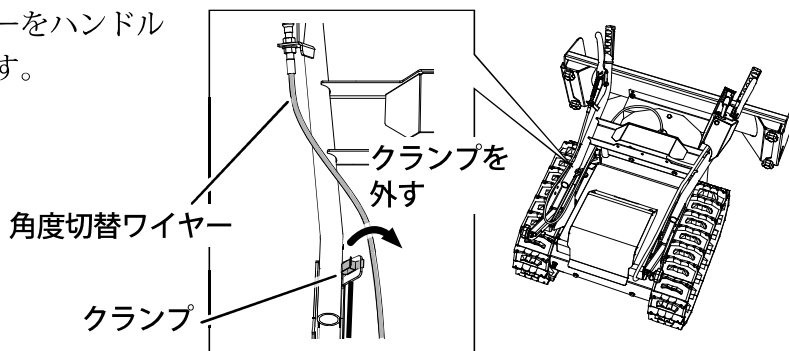
ハンドルを倒す際に、ハンドル角部と支点部にワイヤーとハーネスを引っ掛けないよう注意してください。



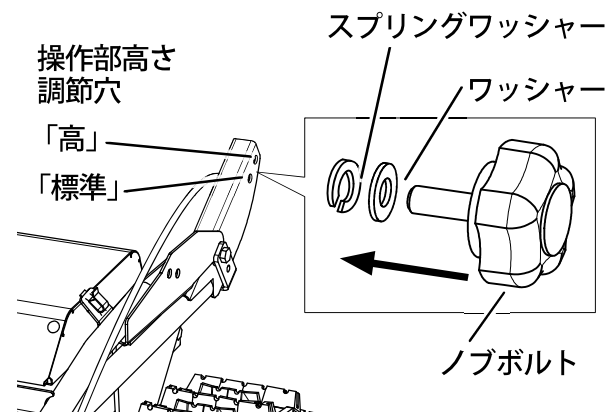
- 3) 機体左側の角度切替ワイヤーをハンドル左側のクランプから外します。

【重要】

ワイヤーのクランプを外さずに長期保管した場合、ワイヤーが変形するおそれがあります



- 4) 紛失防止のため、機体後側の操作部高さ調節穴にノブボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを取付けます。



5章 バッテリー・充電機器の取扱い

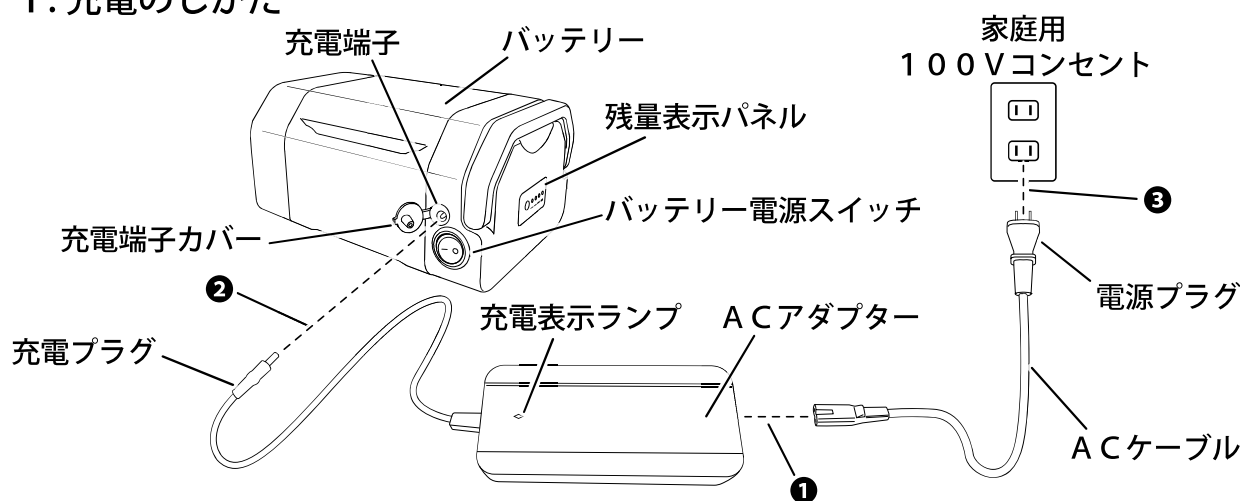
バッテリー・充電機器を取扱う前に、必ず「1章 安全に作業するために必ずお守りください」の項目をよくお読みになってからご使用ください。



守らないと、破裂、液漏れ、発熱、発火、感電、故障を引き起こすおそれがあります。

- ・乾いた布などで清掃したり、身体に静電気が帯電した状態で使用したりしないでください。
- ・バッテリーの使用および充電中に、異臭、発熱、変形、その他の異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、本機や充電機器から取外して、その後は使用しないでください。
- ・バッテリーは濡らさないでください。万が一水没などした場合は、直ちにバッテリーの使用を中止し、本機や充電機器から取外し、その後は使用しないでください。
- ・建物の電源コンセントや充電機器は濡れた手で触れないでください。また、それらが濡れている場合も、手を触れないでください。
- ・充電機器のコードのヒビ割れ、芯線の切れかけ、芯線の腐食がないかを確認してから使用してください。異常が見られた場合には、電源プラグを電源コンセントから抜き、新しいものに交換してください。
- ・バッテリーの使用および充電中に、異臭、発熱、変形、その他の異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、本機や充電機器から取外して、その後は使用しないでください。

1. 充電のしかた



- 1) バッテリー電源スイッチを「OFF」位置にします。
- 2) バッテリーの充電端子カバーを開けて、**①②③**の順番で接続してください。
ACアダプターの充電表示ランプが緑点灯から赤点灯に変わり充電が開始されます。
充電完了までの時間の目安は約8時間です（「残量少」から「満充電」まで充電の場合）
- 3) 充電が完了すると、ACアダプターの充電表示ランプが緑点灯に変わります。
- 4) **③②**の順番で取外して、充電端子カバーを閉じてください。
①は接続したままでも問題ありません。

[参考] ・バッテリーが熱くなっている状態で充電機器を接続した場合は直ぐに充電が開始されません。バッテリーの温度が下がると自動的に充電が開始されます。
・充電中、バッテリーや充電機器が少し熱くなることがありますが故障ではありません。
・0℃～10℃などの低温な場所で充電すると充電時間が長くなります。

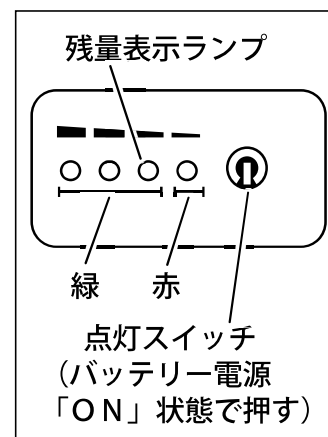
＜充電表示ランプのみかた＞

点灯状態	状態
緑点灯	待機中 A CアダプターとA Cケーブルが接続された状態で、電源プラグが家庭用100Vコンセントに接続されています。
赤点灯	充電中
赤点滅	保護機能の動作により充電停止中 異常（短絡、逆接続、過電圧、過電流、過熱）検出により充電を停止しています。 家庭用100Vコンセントから電源プラグを外して、バッテリーから充電プラグを外してください。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。 （過熱により停止した場合は、A Cアダプターの温度が下がると復帰する場合があります。）
消灯	A CアダプターとA Cケーブルと家庭用100Vコンセントの接続のうち、いずれかが外れています。接続部を確認してください。 接続状態に異常がない場合は、A Cアダプターの故障またはA Cケーブルの断線の可能性があります。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

＜残量表示パネルのみかた＞

電源プラグと充電プラグを外して、バッテリー電源スイッチを「ON」位置にします。点灯スイッチを押すと、押しているあいだ4つの表示ランプがそれぞれ点灯・消灯し、残量を表示します。

点灯状態	表示	残量の状態
緑点灯3	● ● ● ○	残量多（残量余裕あり）
緑点灯2	○ ● ● ○	残量低下
緑点灯1	○ ○ ● ○	残量少（要充電）
赤点灯	○ ○ ○ ●	残量空（要充電） 充電機器をつないでも充電開始まで時間がかかります。
全消灯	○ ○ ○ ○	内部異常または故障 浸水させたり強い衝撃を加えたりなど、異常原因にお心当たりがある場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。 電源が「OFF」状態のままです。電源を「ON」状態にしてから点灯スイッチを押してください。



- 【重要】**
- ・緑点灯1の場合はすみやかに充電してください。
 - ・残量が空（赤点灯）になる前に充電してください。残量が空の状態から充電を繰り返すと、バッテリーの寿命が早まるおそれがあります。
 - ・内部異常または破損の場合は、そのまま使用すると予期せぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ずお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

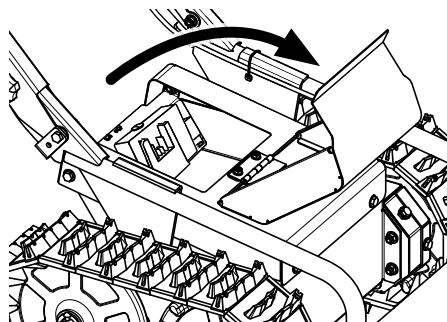
2. バッテリーの取付け・取外し



バッテリー周辺部にゴミなどが付着していないか作業前に点検し、付着していれば取り除いてください。守らないと、火災事故やオーバーヒートを引き起こすおそれがあります。

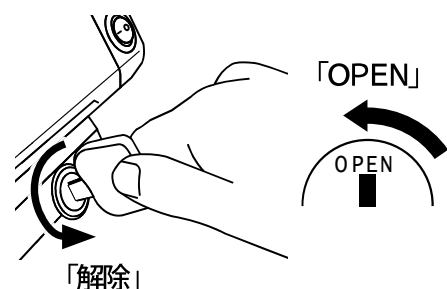
＜バッテリーの取付け＞

1) バッテリーカバーを開きます。



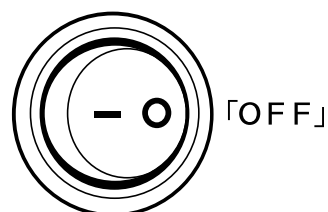
2) 本機のバッテリーロックが「OPEN」位置にあることを確認します。

「LOCK」位置の場合は、ロックキーを差込み、反時計回りに回した後、差込んだロックキーを抜いてください。

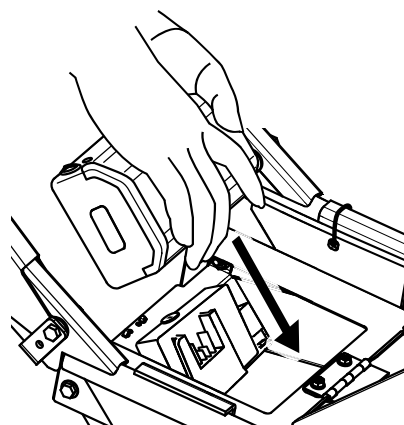


[重要] 機体内部にロックキーを落とさないように注意してください。

3) バッテリー電源スイッチが「OFF」位置にあることを確認します。



4) バッテリーの端子の向きを確認し、バッテリー外周を両手でしっかり支えながらバッテリーを本体のホルダーに差込みます。



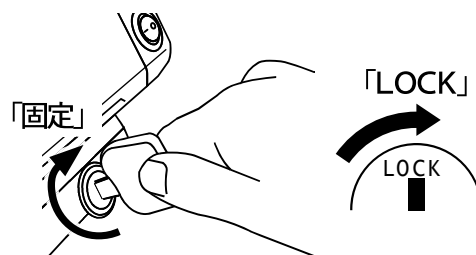
[参考]

バッテリーの取っ手を出した状態のまま本機に取付けできません。

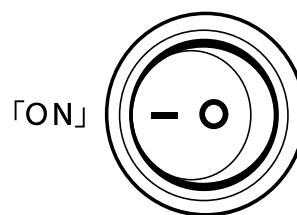
5章 バッテリー・充電機器の取扱い

- 5) ロックキーを時計回りに回して、バッテリーロックを「LOCK」位置にします。その後、差込んだロックキーは抜いてください。

[重要] 機体内部にロックキーを落とさないように注意してください。



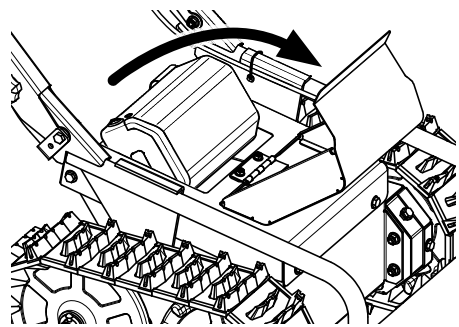
- 6) バッテリー電源スイッチを「ON」位置にします。



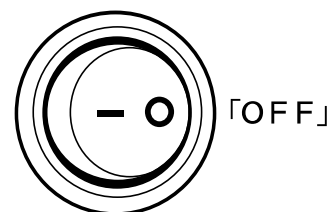
運転をする際は、必ず本機のバッテリーロックを「LOCK」位置にしてください。
守らないと、思わぬ衝撃や転倒などよりバッテリーが脱落し、機械の故障および本機や脱落したバッテリーが発火し火災を引き起こすおそれがあります。

<バッテリーの取外し>

1) バッテリーカバーを開きます。

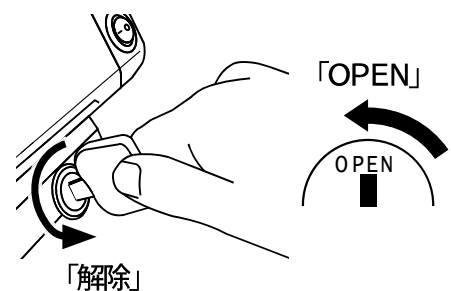


2) バッテリー電源スイッチを「OFF」位置にします。

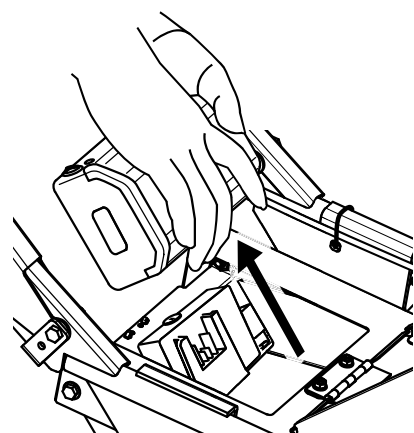


3) ロックキーを差込み、時計回りに回してバッテリーロックを「OPEN」位置にします。その後、差込んだロックキーは抜いてください。

【重要】 機体内部にロックキーを落とさないように注意してください。



4) バッテリー外周を両手でしっかり支えて、矢印の向きにスライドさせてバッテリーを本体のホルダーから取外します。



6章 運転のしかた

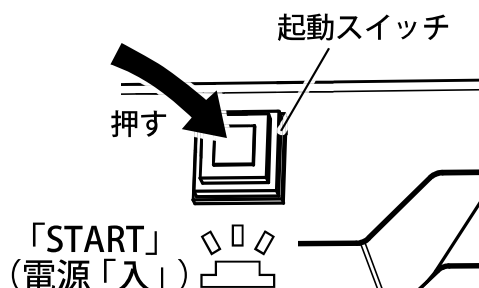
本機を運転する前に、必ず「1章 安全に作業するために必ずお守りください」の項目をよくお読みになってから運転してください。



- ・運転をする際は、必ず本機のバッテリーロックを「LOCK」位置にしてください。守らないと、思わぬ衝撃や転倒などよりバッテリーが脱落し、機械の故障および本機や脱落したバッテリーが発火し火災を引き起こすおそれがあります。
- ・長時間機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、本機の電源を切り、バッテリーを取外してください。守らないと、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

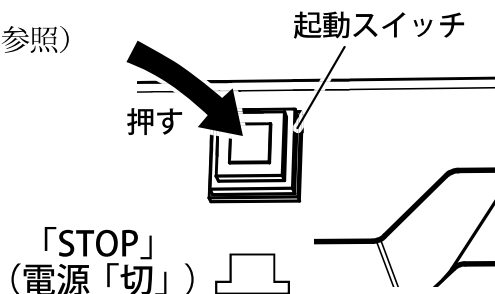
1. 本機の電源の入れかた（始動）

- 1) バッテリーを取付けます。（P.35 参照）
- 2) 起動スイッチを押して「START」位置にします。
電源が入りランプが点灯します。



2. 本機の電源の切りかた。

- 1) 走行レバーを放して機体を停車します。（P.40 参照）
- 2) 起動スイッチを押して「STOP」位置にします。
電源が切れてランプが消灯します。



[参考]

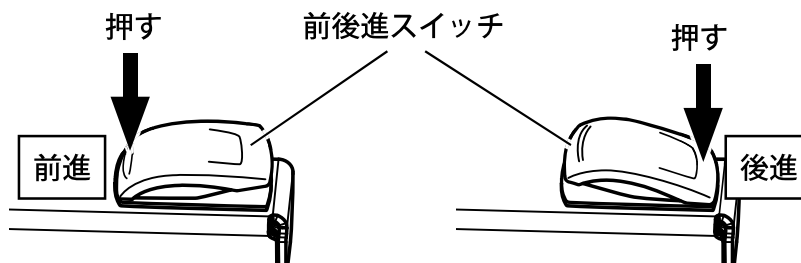
本機には安全のため自動ブレーキ機能が備わっています。本機の電源が入ると「カチッ」と作動音が鳴りブレーキが解除されます。本機の電源を切ると、同様に作動音が鳴り自動的にブレーキがかかります。

[重要]

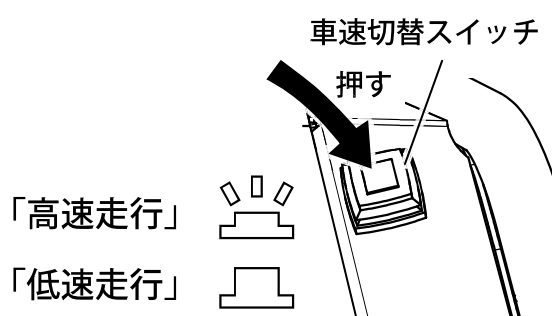
電源を入れるまたは切るときに作動音が鳴らない場合は本機が故障している可能性があります。そのまま使用せずに、すみやかに買い上げいただいた販売店へ修理を依頼してください。

3. 発進のしかた

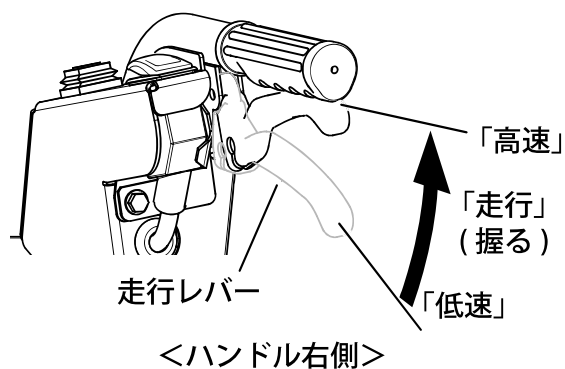
- 1) 本機の電源を入れます。(P.38参照)
- 2) 前後進スイッチを「前進」または「後進」に入れて、進行方向を決めます。



- 3) 車速切替スイッチを「高速走行」または「低速走行」にして車速を決めます。



- 4) 走行レバーを握ると本機が発進します。
レバーの握り具合で車速を調節します。



[重要]

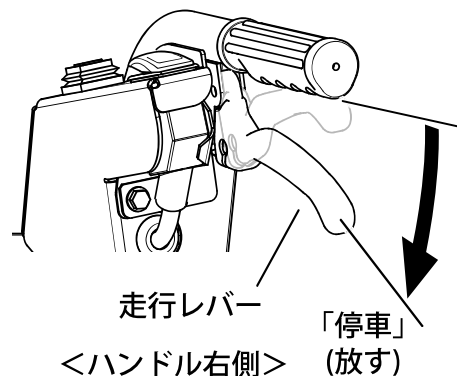
- 除雪以外の移動ときは、路面とエッジが接触しないように、ハンドルを少し押し下げてブレードを浮かせた状態で走行してください。路面が傷付いたりエッジの摩耗が早まります。
- 水たまりはできるだけ避けて走行してください。万が一本機が水没した場合は、本機の故障や発火するおそれがあります。お買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。

4. 停車のしかた

走行レバーを放すと本機が停止します。

⚠ 注意

停車の際は走行レバーをゆっくりと放してください。急に放すと機体が急停車します。



5. 駐車のしかた

- 1) 本機の電源を切ります。（P.38 参照）
- 2) 本機からバッテリーを取外します。（P.37 参照）

6. 旋回のしかた

ハンドルを両手でしっかりと持ち、手動でハンドルを左右に振って機体全体を旋回させます。

⚠ 警告

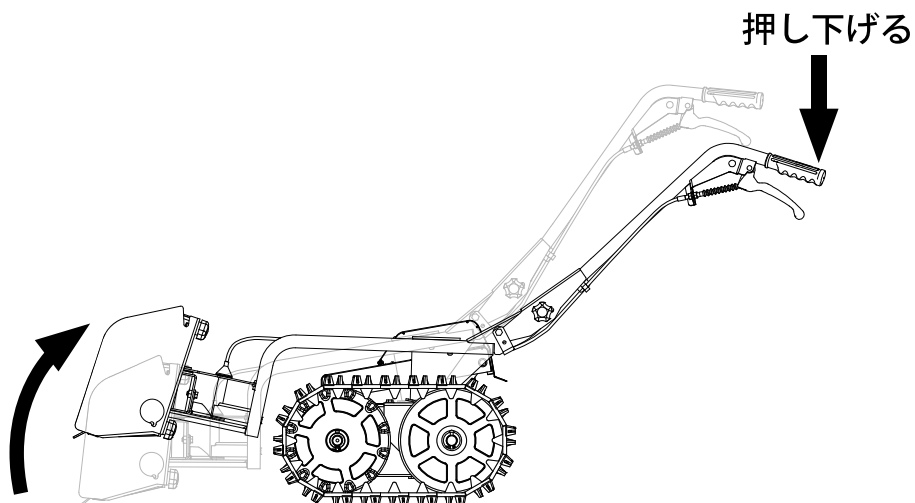
- 旋回するときは、十分に速度を落としてください。また、凸凹道やカーブの多い場所では十分に速度を落としてください。守らないと、機械の破損、事故の原因となることがあります。
- 傾斜面で旋回する場合は、横転に注意して、低速で緩やかな旋回の操作をしてください。守らないと、機械の転倒・暴走などの事故の原因となることがあります。

[重要]

本機が走行していない状態でむやみに旋回操作をしないでください。クローラーの摩耗が早まります。

7. ブレードの持ち上げかた

ハンドルを両手でしっかりと持ち、ハンドルを押し下げるとブレードが持ち上がります。積み降ろしやブレード内の雪を持ち上げるときに使用します。



警告

むやみにハンドルを押し下げて、前輪を浮かせた状態にしないでください。守らないと、転倒など思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

[重要]

- 勢いよく昇降操作を行わないでください。本機が破損するおそれがあります。
- ハンドルを持ち上げて、意図的にブレードを路面に押し付けたまま除雪しないでください。路面が傷ついたりエッジの摩耗が早まります。

7章 除雪作業のしかた

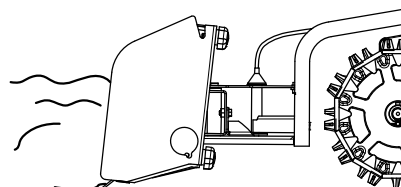
除雪作業を行う前に、必ず「1章 安全に作業するために必ずお守りください」の項目をよくお読みになってから除雪作業を行ってください。

1. 除雪作業の要領

本機に無理な負荷をかけずに作業を行うことが重要です。特に深い雪や固くなった雪の場合は、過負荷によりクローラーのスリップ（空転）や本機が停止しやすくなります。スリップや過負荷による停止をさけるには、次の方法を参考にしてください。

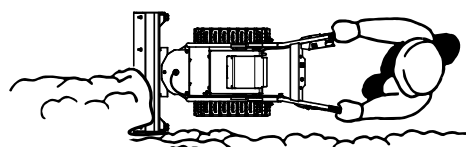
<ブレードより低い高さの雪を除雪する>

ブレードより高い雪を除雪すると、柔らかい雪はブレード上部からこぼれやすく、固い雪は重く押すことができない場合があります。



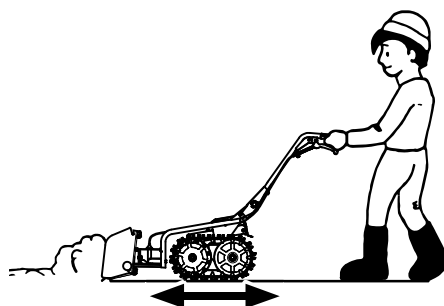
<除雪幅を狭めて除雪する>

ブレードの全幅で除雪をせず、ブレードにかかる雪幅を狭めて除雪してください。



<前後進で除雪する>

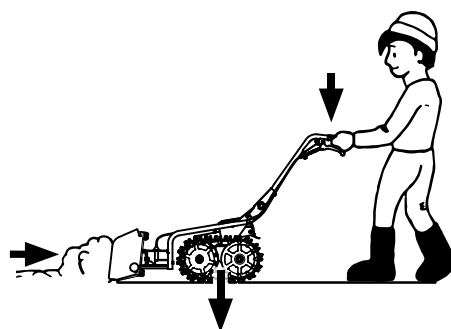
固くなった雪などにブレードが乗り上げてしまう場合は、前・後進を繰り返して少しずつ除雪してください。



<ハンドルを下方方向に押し付けて除雪する>

ブレード内に雪がたまり、雪の負荷で押せなくなったりクローラーがスリップ（空転）したりする場合は、ハンドルを下方方向に押し付けながら除雪してください。

ブレードに負荷がかかった状態でハンドルを押し下げると、クローラーに荷重がかかり、駆動力が増加して前進しやすくなります。



- 【参考】**
- ・雪の負荷が小さすぎる場合は、ハンドルを下方方向に押し付けてもクローラーに荷重がかからず、ブレードが持ち上がります。
 - ・雪の負荷が大きすぎる場合は、クローラーが停止してしまうため、無理に押し続けずに一旦後進したり除雪幅を狭めたりして除雪してください。

8章 運搬のしかた

トラックなどのへの積み降ろし作業を行う前に、必ず「1章 安全に作業するために必ずお守りください」の項目をよくお読みになってから積み降ろしを行ってください。



- ・平坦で安定した、交通などの危険のない場所で積み降ろししてください。守らないと、思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。
- ・アユミ板は、機械の走行部の幅に合わせて適切に配置し、積み降ろしに使用するトラックの荷台からズレたり外れたりしないように確実に固定してください。守らないと、転落などの事故をまねくおそれがあります。
- ・本機の前後へは人を立ち入らせないでください。守らないと、機械が不意に動いたときに、思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。
- ・アユミ板の上では、車速切替スイッチや走行レバーでの速度の変更、停車、ブレード角度切替レバーの操作などはしないでください。守らないと、転落やひかれ・挟まれなどの事故をまねくおそれがあります。

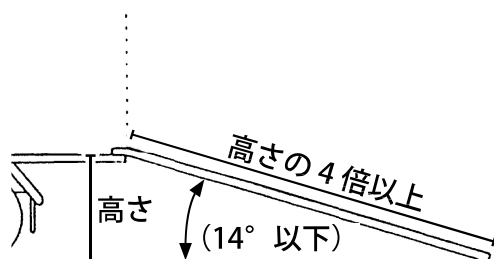
1. トラック等での運搬のしかた

<アユミ板について>

アユミ板は、下記の基準に合ったものを使用してください。

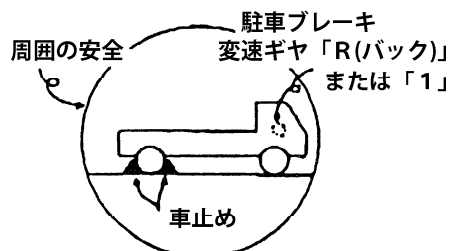
アユミ板の基準

- 強度：機体と作業者の重量に十分に耐えうるもの
幅：機械のクローラー幅の1.2倍以上のもの
長さ：地面から荷台までの距離（高さ）の4倍以上の長さのあるもの
（積載時の傾斜が約14°以下）
表面：すべり止めのあるもの
形状：荷台に引っ掛けるためのフックのあるもの



<トラックの準備>

- 1) トラックは、平坦で安定した場所で、交通などの危険がなく、作業が十分に行える広さの場所に停車します。
- 2) トラックの変速レバーは、「P」または「1」・「R」位置に入れ、駐車ブレーキを掛けます。
- 3) タイヤに車止めを設置します。
- 4) 機械の走行部の幅に合わせてアユミ板を適切に配置し、トラックの荷台と段差ができないようにアユミ板のフックを確実に掛けて固定します。

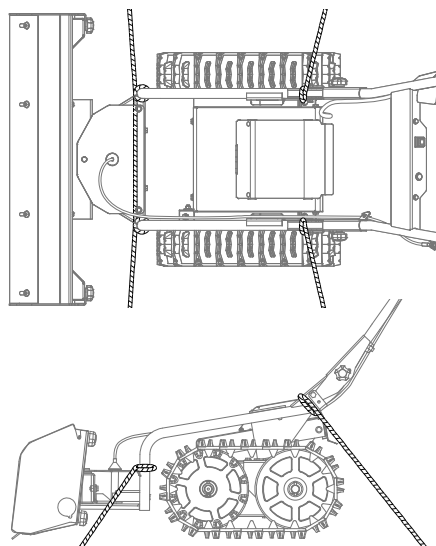
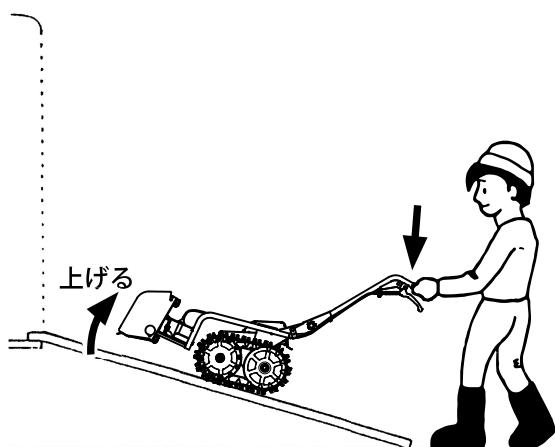


<荷台への積み込みかた>

- 1) 前後進切替スイッチを「前進」にします。
- 2) 車速切替スイッチを「低速」にします。
- 3) アユミ板の上で進行方向を変更をしないようにあらかじめ方向を定めて、低速で慎重に走行します。
- 4) 地面とアユミ板の継ぎ目を走行する際に、エッジがアユミ板に接触しそうな場合は、ハンドルを押し下げてブレードを持ち上げて、エッジがアユミ板に接触しない状態で最低速度で慎重に走行します。
- 5) アユミ板の上では、車速切替スイッチや走行レバーでの速度の変更、停車、ブレード角度切替レバーの操作などはせずに、エッジがアユミ板に接触しないようにブレードを持ち上げながら低速で前進します。
- 6) アユミ板と荷台の継ぎ目をのり越える際に、急激に機械の姿勢が変わる場合があるため、最低速度で慎重に走行します。
- 7) 積み込み位置へ到達したら駐車します。(P.40参照)
- 8) 本体フレームやブレードなどの強固かつ機体が安定する部位を、十分に強度のあるロープなどを用いてトラックに確実に固定して、本機のハンドルが動かないことを確認します。ハーネスやワイヤーなどはロープで縛らないように注意してください。

<荷台からの降ろしかた>

- 1) 機械を固定しているロープを外します。
- 2) バッテリーを取付けます。(P.35参照)
- 3) 本機の電源を入れます。(P.38参照)
- 4) 前後進切替スイッチを「後進」にします。
- 5) 車速切替スイッチを「低速」にします。
- 6) アユミ板と荷台の継ぎ目をのり越える際に、急激に機械の姿勢が変わる場合があるため、最低速度で慎重に走行します。
- 7) アユミ板の上では、車速切替スイッチや走行レバーでの速度の変更、停車、ブレード角度切替レバーの操作などはせずに、エッジがアユミ板に接触しないようにブレードを持ち上げながら低速で後進します。
- 8) 地面とアユミ板の継ぎ目を走行する際に、エッジがアユミ板に接触しそうな場合は、ハンドルを押し下げてブレードを持ち上げて、エッジがアユミ板に接触しない状態で最低速度で慎重に走行します。



<ロープ掛け位置例>

9章 始業点検・定期点検

点検作業を行う前に、必ず「1章 安全に作業するために必ずお守りください」の項目をよくお読みになってから点検作業を行ってください。



- ・機械の下にもぐったり、足を踏み入れたりしないでください。守らないと、何かの原因で機械が動いたときに、傷害事故をおこすおそれがあります。
- ・本機を洗う際には高圧洗浄機を使用しないでください。守らないと、塗装やラベルが剥がれたり、機械が故障したり、火災を引き起こすおそれがあります。



- ・点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてください。守らないと、機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・機械の点検整備・清掃などをするときはバッテリーを取外してください。守らないと、思わぬ傷害事故の原因となります。
- ・使用の前と後には必ず機械の点検をしてください。特にレバーなどの操作装置は確実に作動することを確認してください。守らないと、整備不良による事故や機械の故障を引き起こすおそれがあります。

[重要]

廃棄物をみだりに捨てたり、焼却すると環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。ゴム類、その他の有害物質を廃棄するときは、法令に従い適正に処理してください。

処理の方法が分からない場合は、お買い上げ頂いた販売店または産業廃棄物処理業者にご相談ください。

※ 廃棄物処理法、水質汚濁防止法

[重要]

リチウムイオンバッテリーは、廃棄（リサイクル）方法が法令により定められています。廃棄せずにお買い上げいただいた販売店にご持参ください。

1. 始業点検

快適で安全な作業をするためには、機械の状態をいつも最良にしておくことが大切です。運転前には、下記に定める点検をお客様自身で行ってください。

<点検項目一覧表>

点検箇所	内容	参照ページ
バッテリー	点検・充電	47
エッジ	点検	47
クローラー	点検・調整（必要に応じて）	48
ドライブピン	点検・交換（必要に応じて）	49
バッテリーホルダー周囲	点検・清掃	50
ブレード周囲	点検・清掃	50
ノブボルト	点検・締付け	50
各部の締付け	点検	50
電装部品・電装ハーネス	点検	50
各部の作動状態	点検	50
前回作業時の異常箇所	点検	50
作業場所	点検（除雪作業を行う場合のみ）	50

点検時に異常を感じたときは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

2. 定期点検

始業点検の他に、お買い上げいただいた販売店で定期的を実施していただく点検項目がございます。機械の整備不良による事故を未然に防止するため、1シーズン毎にお買い上げいただいた販売店へ整備をご依頼して、各部が最良の状態にしてください。

<点検・整備項目一覧表>

点検・整備箇所	内容	点検・整備時期	参照ページ
始業点検項目	始業点検項目	定期点検時	46
バッテリー	点検・充電	3ヶ月毎 （長期保管時）	47
エッジ	点検・★組替え・★交換	60時間毎 （または3年毎）	47
クローラー	点検・調整	20時間毎 （または1年毎）	48
ヒューズ	点検・交換	（必要に応じて）	49
ブレード角度保持部 （ブレード角度切替ワイヤー）	点検・★調整	20時間毎 （または1年毎）	—

★の項目については適切な工具と整備技術を必要とします。必ずお買い上げいただいた販売店へ整備をご依頼ください。

[重要]

各部品の寿命は、お客様のご使用状況により異なります。定期点検を受けられた機械でも、異常を感じた場合は、直ちにお買い上げいただいた販売店へ整備を依頼してください。

10章 点検・整備のしかた

点検・整備を行う前に、必ず「1章 安全に作業するために必ずお守りください」の項目をよくお読みになってから点検・整備を行ってください。

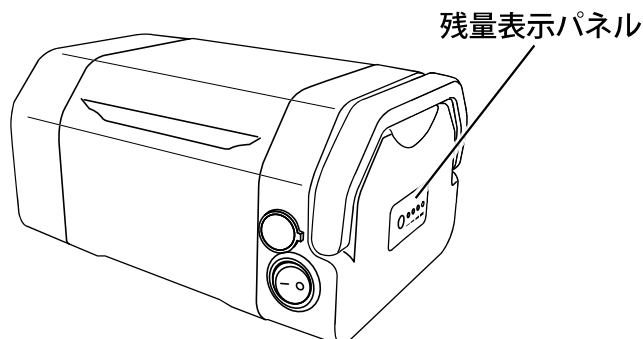
1. バッテリー

<点検>

本機からバッテリーを取外した状態で、残量表示パネルでバッテリーの残量を確認します。（P.34参照）

<充電>

本機からバッテリーを取外した状態で充電してください。（P.33参照）



[重要]

バッテリーの表示ランプが赤点灯の場合や充電してもすぐにバッテリー残量が無くなる場合は、バッテリーが消耗している場合があります。

お買い上げいただいた販売店にご相談ください。 指定のバッテリー：P.58参照

2. エッジ

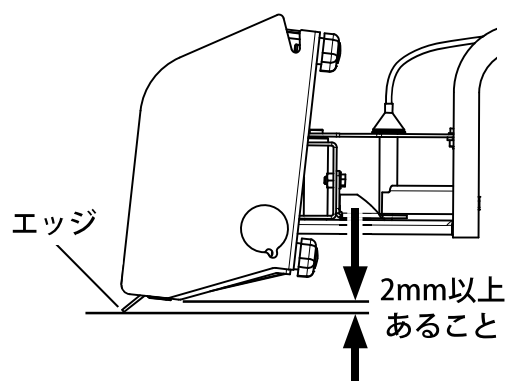
<点検>

本機を平坦な場所に駐車し、凹凸のない路面にエッジを接地させます。

- 1) ブレードの下側と路面との隙間が2mm以上あるか確認します。
- 2) その他、異常摩耗がないか目視で確認します。

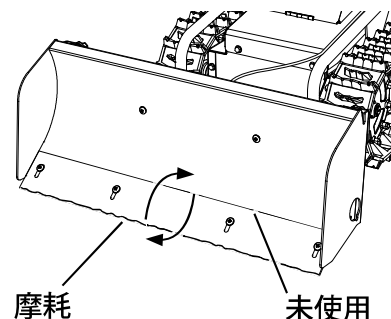
隙間が2mm以下の場合やエッジに異常摩耗がある場合は、エッジの組替えまたは交換が必要です。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

（指定のエッジ：P.58参照）



<エッジの組替え>

エッジの片側が摩耗した場合は、エッジを上下反転して組付けることで継続してご使用いただけます。お買い上げいただいた販売店に「エッジの組替え」をご依頼ください。



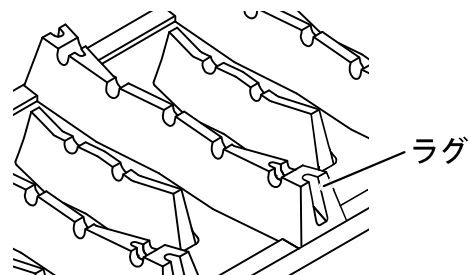
[重要]

路面との隙間が2mm以下で使用しないでください。ブレード本体が路面と接触して破損や予期せぬ不具合を引き起こすおそれがあります。

3. クローラー

<点検>

ラグが著しく摩耗していないか、亀裂がないか、クローラーが緩んでいないか確認します。



<調整>

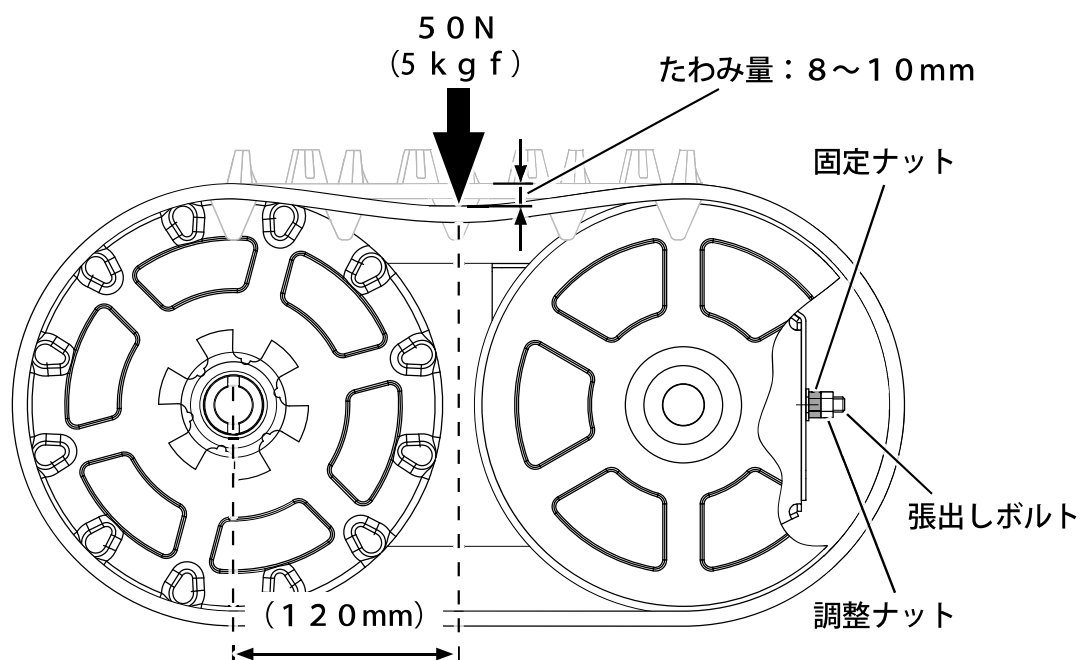
必要工具：12mmのレンチまたはスパナ 2本

1) バッテリーを外します。

2) 固定ナットを緩めて、調整ナットで張出し調整を行います。

クローラー中央部を50N(5kgf)で押したときのクローラーのたわみ量が8～10mmの範囲内にあるか確認します。範囲外の場合は調整ナットで調節します。調節ナットを時計回りに回すと、ナットが締付けられてクローラーが張ります。

3) 調整ナットが回らないように工具で押さえながら、もう1本の工具で固定ナットを時計回りに回してナットを締付けます。



<本機左側より見る>

[重要]

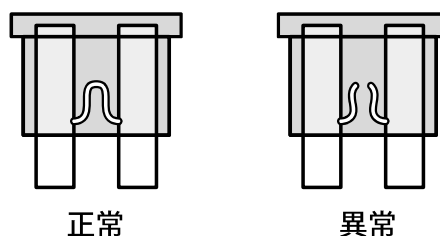
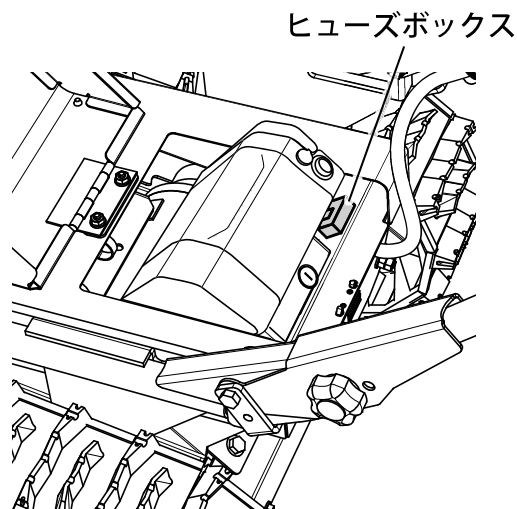
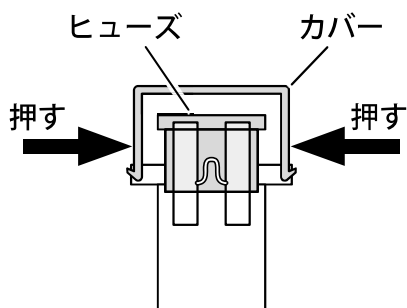
クローラーの張り出し寸法が正常でないと、クローラーが外れたり、クローラーの寿命が著しく早まるおそれがあります。

4. ヒューズ

電気系統に異常がある場合に点検します。

<点検・交換>

- 1) バッテリーを外します。
- 2) ヒューズボックスのカバーの左右を押してカバーを外します。
- 3) ヒューズをつまみながら上に引っ張り、ヒューズを外します。
- 4) ヒューズ内部の線が切れていないか確認します。ヒューズが切れていた場合は、不具合を確認して、解消してから指定のヒューズに交換してください。（指定のヒューズ：P.58 参照）



- 5) ヒューズをヒューズボックスに確実に差し込みます。ヒューズを交換の際は、必ず本機の不具合を解消してから、指定した同容量のヒューズを差し込んでください。



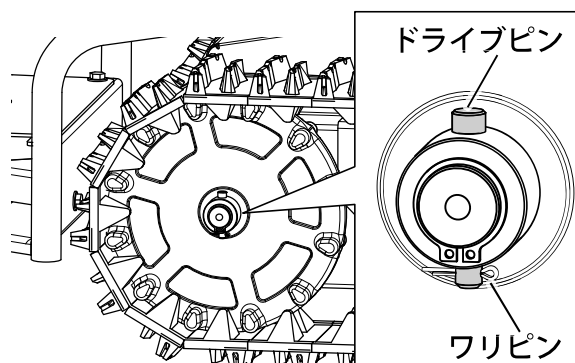
- ・必ず指定された同容量のヒューズを使用してください。守らないと、火災が発生し傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ヒューズを交換の際は、必ず本機の不具合を確認して、解消してから指定のヒューズに交換してください。同様の不具合で再びヒューズが切れる場合があります。守らないと、火災が発生し傷害事故を引き起こすおそれがあります。

5. ドライブピン

機体前輪の左右両端に取付けられています。万が一に走行部に強い衝撃が加わった際に、ピンが折損して機体内部へのダメージを緩和する役割を持っています。

<点検>

ピンが折損または外れていないか確認します。

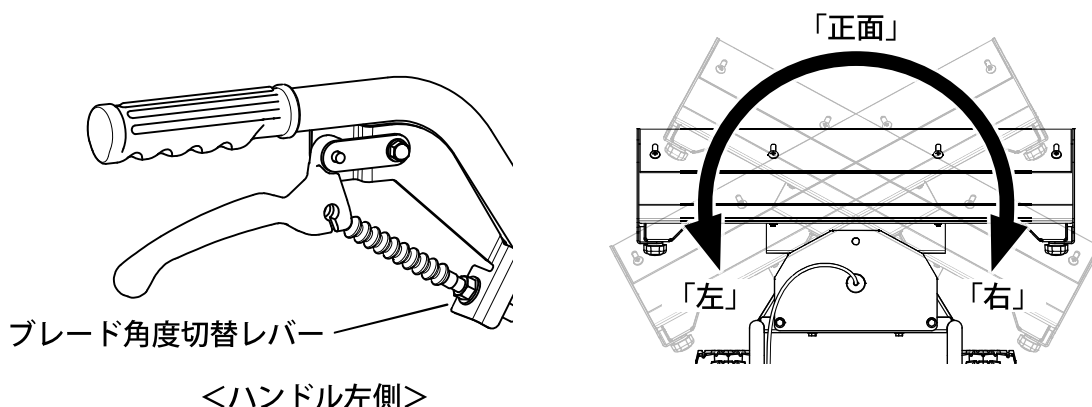


6. ブレード角度保持部

<点検>

ブレードの角度を切替えて、それぞれの位置でブレードの角度が確実に保持できているか確認します。（P.28 参照）

ブレードを保持した際に大きな遊びがある場合は、角度切替ワイヤーの調整が必要です。
お買い上げいただいた販売店にご相談ください。



7. その他の点検

次の点検も忘れずに行なってください。

- 1) バッテリーカバー内のバッテリーホルダー周囲にゴミや埃などはないか。
- 2) ブレード周辺やクローラー周辺にゴミ、汚れ、異物などが付着していないか。
- 3) ノブボルトが確実に締付けられているか。（サイドプレート、ハンドル）
- 4) その他、各部位にゆるみやガタつきはないか。
- 5) 電装部品・電装ハーネスの損傷やコネクターの接続外れなどはないか。
- 6) 各部の作動状態は正常か。
- 7) 前回作業時に気になった箇所や不具合は解消されているか。（異音、振動、異臭 など）
- 8) 作業場所に異物はないか。（石・木片・ビニール・ビン・カン・ホース・ナワ・布切れ など）



本機の不具合が解消しないまま作業を行わないでください。守らないと、
本機の故障や思わぬ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

1 1 章 長期間使用しない時の手入れ

保管する前に、必ず「1 章 安全に作業するために必ずお守りください」の項目をよくお読みになってから保管してください。

除雪シーズンが終わり長期間保管するときは、次のシーズンも快適にお使いいただくために次のことを必ずお守りください。

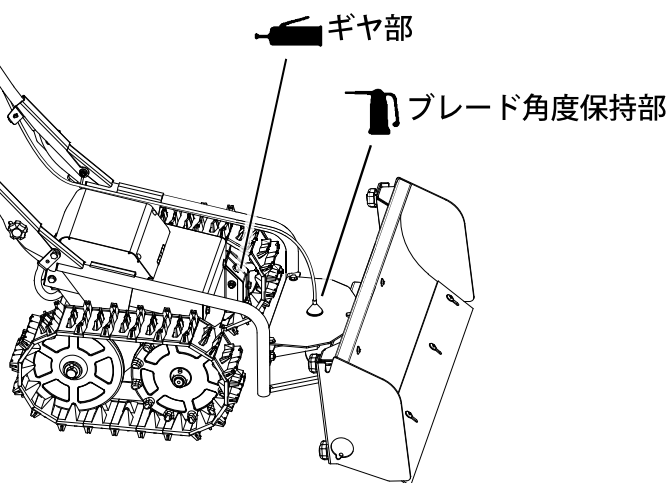
1. 本機の保管のしかた

- 本機からバッテリーを外します。
- 保管前に、水気や汚れを拭き取り乾燥させた後、各部にグリースアップをします。

各レバーの支点部

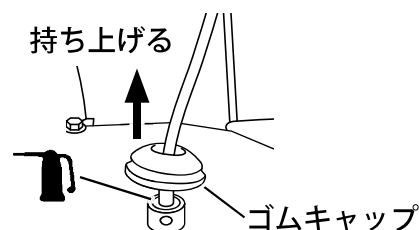
：グリースアップ箇所（スプレーグリース市販品）

：注油箇所（エンジンオイル市販品）



<ブレード角度保持部>

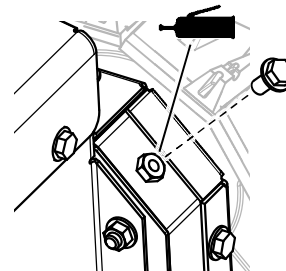
- 1) ゴムキャップを持ち上げて、支点軸の隙間にオイルを少量注油します。
- 2) ゴムキャップを元に戻します。



<ギヤ部>

必要工具：10mmのレンチまたはスパナ 1ヶ

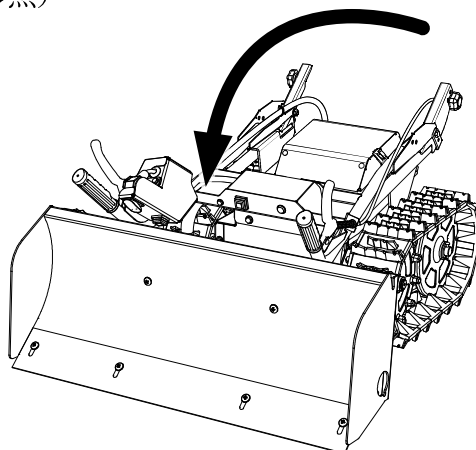
- 1) ボルトを外します。
- 2) ボルト穴内部にスプレーグリースを塗布します。
- 3) ボルトを取付けます。
- 4) 本機の電源を入れた後、前後進を数回行い、内部のグリースをなじませます。



ボルト穴内部にスプレーグリースを塗布しながら前後進の操作をしないでください。可動部に巻き込まれて予期せぬ事故を引き起こすおそれがあります。

11章 長期間使用しない時の手入れ

- 必要に応じてハンドルを折りたたみます（P.31 参照）



ブレードを下向きにした状態や本機を左右に横転させた状態など、本機を立てた状態で保管しないでください。本機が転倒し、機械の破損や思わぬ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- モーター等の高温部が冷めてから、ビニール等でカバーをし、湿気や埃の少ない場所で保管します。



シートなどをかけるときは、本機の高温部が十分に冷めてから行ってください。
守らないと、火災事故を引き起こすおそれがあります。





- ・塩害・塵灰害・化学ガスの被害を受けやすい場所では、本機・バッテリー・充電機器を保管しないでください。守らないと、感電、過熱、発火などの傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・バッテリーと充電機器は、お子様の手の届かない場所で、落下などの心配が無い安全な場所で保管してください。守らないと、思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。
- ・バッテリーをネックレスやヘアピン、コイン、鍵などの電気を通すものと一緒に保管しないでください。守らないと、発熱、破裂、発火のおそれがあります。

[重要]

リチウムイオンバッテリーは、残量が空もしくは満充電に近い状態で長期保管をすると、バッテリーの寿命が早まります。

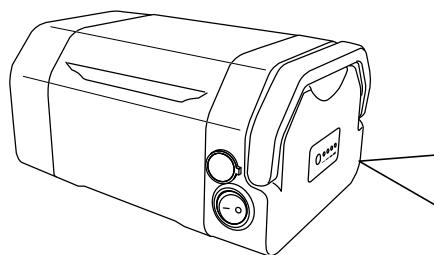
2. バッテリーの保管のしかた

必ず本機からバッテリーを取外して保管をしてください。

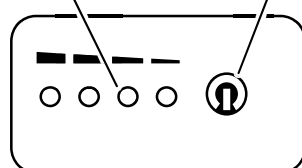
バッテリーの寿命を長持ちさせるため、以下の内容に従ってバッテリーを管理してください。

- 涼しくて快適な場所で保管する。（室温：0～25℃ 湿度：40～60％）
- ゴミや埃などが少ない場所で保管する。
- 3ヶ月毎に残量表示パネルでバッテリーの残量を点検する。（P.47参照）

バッテリーの残量表示ランプの点灯状態が「緑点灯3」または「緑点灯2」で保管する。
「緑点灯1」や「赤点灯」の場合は、充電してから保管する。



残量表示ランプ 点灯スイッチ
(バッテリー電源「ON」状態で押す)



点灯状態	表示	点検時の対応
緑点灯 3		保管可能
緑点灯 2		
緑点灯 1		要充電
赤点灯		

12章 不調診断のしかた

本機の異常を感じたときは、ご自身で次の点検を行ってください。故障と思われる場合は、むやみに分解をせず、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。

<全般の不具合対応>

症状	確認箇所	処置の方法
機械的動作全般 ・車速が遅い ・途中で止まる ・雪を押す力が弱い など	本機のバッテリー残量警告灯が点灯または点滅していませんか	バッテリーの残量が低下または不足しています。バッテリーを取外してすみやかに充電してください。または充電済みのバッテリーと交換してください。
電氣的動作全般 ・操作部の操作異常 ・操作不能 など	ヒューズが切れていませんか	切れた原因を確認し、不具合を解消してください。解消できない場合やご不明な場合は、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
	電装ハーネスの接続コネクターが外れていませんか	接続コネクターを接続してください。
制御表示ランプが点灯・点滅している	制御表示ランプのエラーコード一覧表を確認	制御表示ランプのエラーコード一覧表を参照し、対処してください。（P. 56 参照）

<緊急時の不具合対応>

症状	処置の方法
本機が停止しない 操作部で操作できない	ただちに本機の電源を切ってください。動作が停止したのを確認した後、バッテリー電源スイッチを「OFF」位置にしてからバッテリーを取外して、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
本機が走行できないが移動させたい	起動スイッチを「START」位置にしてください。 電源が入りブレーキが解除された場合は、ハンドルを押して手動で走行が可能です。 電源が入らない、またはブレーキが解除されない場合は、起動スイッチを「STOP」位置にした後、前輪のドライブピンとワリピンを、ラジオペンチなどを用いて左右両方とも取外すと、ハンドルを押して手動で走行が可能です。

<各部の不具合対応>

症状	確認箇所	処置の方法
起動スイッチの操作で本機の電源が入らない	バッテリー電源スイッチが「OFF」になっていませんか	バッテリー電源スイッチを「ON」にしてください。
	バッテリーの残量表示ランプの点灯が赤になっていませんか	バッテリーの残量が低下または不足しています。バッテリーを取外してすみやかに充電してください。または充電済みのバッテリーと交換してください。
本機が走行しない	走行モーターが熱くなっていますか	モーターの過熱保護機能が作動しています。モーター温度が下がってから再操作してください。
	クローラーに異物が挟まっていますか	駐車して、異物を取除いてください。
後進時にクローラーが停止する	走行部が雪の中に埋もれた状態で後進していませんか	走行部に負荷がかかり、後進時挟まれ防止機能によりクローラーが停止しています。前後進を繰り返すか、手動で引っ張り出して本機を脱出させてください。
除雪時に走行が停止する	ブレードに雪の負荷がかかりすぎていませんか	除雪時の負荷を軽減させてください。（P. 42 参照）
	左右のドライブピンが外れていませんか	ドライブピンを取付けてください。（P. 49 参照）
走行時にクローラーから異音が出る	クローラーに異物が挟まっていますか	駐車して、異物を取除いてください。
	クローラーが緩んでいる、または張りすぎていませんか	駐車して、適正な張り出しに調整してください（P. 48 参照）
	新品のクローラーをご使用ですか	新品のクローラーが車輪に馴染んでおらず、音が出る場合がございます。性能上は異常ありません。しばらくご使用いただくと解消されます。

次ページへ続く→

12章 不調診断のしかた

→前ページの続き

<各項目の不具合>

症状	確認箇所	処置の方法
ブレードが昇降できない	ハンドル可動部に異物が挟まっていませんか	駐車して、ハンドル可動部に挟み込まれないよう十分に注意して異物を取除いてください。
ブレードの角度切替えができない	左右切替時に引っ掛かっていませんか	角度切替ワイヤーの調整が必要です。 お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
	ブレード角度保持部に異物が挟まっていませんか	駐車して、ブレード可動部に挟み込まれないよう十分に注意して異物を取除いてください。
	角度切替ワイヤーが折れ曲がっていませんか	お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
ブレードから雪がこぼれる	ブレードの全幅で除雪していませんか	全幅で除雪すると少々取りこぼしてしまう場合があります。 除雪幅を狭めて除雪してください（P. 42 参照）
	正面押しでサイドプレートを外していませんか	サイドプレートを装備してください（P. 29 参照）
	ブレードの高さよりも高い雪を除雪していませんか	ブレードの高さよりも高い雪を除雪すると少々取りこぼしてしまう場合があります。 一度に除雪せずに、前後進を活用して徐々に除雪してください（P. 42 参照）
仕上がりが悪い （波打つような模様の除雪跡が残る） 除雪時にブレードが激しく振動する	ブレード角度保持部の遊びが大きくありませんか	角度切替ワイヤーを調整することで解消される場合があります。 お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
	エッジの左右片側だけが極端に摩耗していませんか	エッジの組替えまたは交換が必要です。 （P. 47 参照） お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
	ハンドルのノブボルトが緩んでいませんか	ノブボルトが緩むと、除雪時の振動を操作部で押さえ付け辛くなります。ノブボルトを締付けてください。
バッテリーが充電できない	バッテリーの残量表示ランプの点灯が赤になっていませんか	お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
	バッテリーの表面温度が低くなっていませんか	温度が低い状態で充電すると、最大容量まで充電されません。適切な室内温度で充電してください。 （P. 33 参照）
	指定された充電器を使用していますか	指定の充電器を必ずご使用ください。 危険ですので、他充電器のご使用を中断し、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
充電後すぐにバッテリー残量が無くなる	外気温度が低い場所で充電していませんか	温度が低い状態で充電すると、最大容量まで充電されません。適切な室内温度で充電してください。 （P. 33 参照）

[重要]

一覧に記載の処置を行った後も、エラーが解消されない場合や、ひんぱんに点滅する場合は、お買上げいただいた販売店に修理を依頼してください。

＜制御表示ランプ エラーコード一覧表＞

点滅回数	表示イメージ	症状	想定される要因	処置の方法	処置後の復旧の方法
1回	— — —	モーター ドライバー 内部エラー	モータードライバーの破損	お買上げいただいた販売店にご相談ください。	—
2回	— — — — —	過電流 検出	電装ハーネスや電装部品の ショートまたは破損	1) 電装ハーネスが破損していないか、配線に異常がないか確認してください。 2) ヒューズが切れていた場合は、本機の修理を行った後に交換してください。（P. 49 参照） 3) 電装ハーネスの損傷や電装部品が故障した場合は、お買上げいただいた販売店にご相談ください。	起動スイッチを「STOP」位置にした後に再始動
			走行部への過負荷	1) モータードライバーが冷えるまでしばらくお待ちください。 2) 復帰後は、除雪時の負荷を軽減させてください。（P. 42 参照）	
			走行部への異物の巻き込み	異物を取除いてください。	
3回	— — — — — — —	モーター ドライバー 過熱	走行部への過負荷	1) モータードライバーが冷えるまでしばらくお待ちください。 2) 復帰後は、除雪時の負荷を軽減させてください。（P. 42 参照）	
			走行部への異物の巻き込み	1) 異物を取除いてください。 2) モータードライバーが冷えるまでしばらくお待ちください。	
6回	— — — — — — — — —	初期設定 未実施状態	—	初期設定が必要です。お買上げいただいた販売店にご相談ください。	初期設定後に再始動
早い 点滅 (1回当たり 0.2秒間点灯)	— — — — — — — — —	始動時 誤発進 防止制御	走行レバーが握られたまま本機の電源を入れた	走行レバーを放してください。	処置後しばらくして自動的に復帰
		モーター ロック 検出	走行部への異物巻き込みによる物理的固定	異物を取除いてください。	処置後走行レバーを放して自動的に復帰
			走行部への過負荷によるモーターの過熱保護機能が作動	モーターが冷えるまでしばらくお待ちください。	起動スイッチを「STOP」位置にした後に再始動
			モーターブレーキの解除に失敗	ブレーキ解除音が鳴りません。お買上げいただいた販売店にご相談ください。	—

13章 主要諸元

項 目		型 式 名	e - S B 8 1
機 体 寸 法	全長	ハンドル高さ「標準」	mm 1 4 3 5
		ハンドル高さ「高」	mm 1 3 9 5
	全幅		mm 8 1 0
	全高	ハンドル高さ「標準」	mm 8 8 5
		ハンドル高さ「高」	mm 9 2 0
	装備重量		kg 7 0
走 行 部	前進車速	高速	km / h 0 ~ 3. 5
		低速	km / h 0 ~ 3. 2
	後進車速	高速	km / h 0 ~ 3. 0
		低速	km / h 0 ~ 2. 0
	モーター	名称	D C ブラシモーター 2 4 V - 5 5 0 W
	クローラー	名称	スノーパターンゴムクローラー
機 体 性 能		除雪幅	mm 8 1 0
		除雪高さ	mm 3 1 5
		標準作業時間	約 6 0 分
		使用外気温度	- 2 0 ℃ ~ 2 0 ℃
バ ッ テ リ ー		種類	リチウムイオン電池
		容量	2 4 V / 1 7 A h (4 0 8 W h)
		標準充電時間	約 8 時間
充 電 機 器		供給電源	A C 1 0 0 V (5 0 - 6 0 H z)
		消費電力	7 3. 5 W

* 主要諸元は、本機の改良にともない予告なしに変更になる場合がございます。

14章 主要消耗部品・標準付属品

<主要消耗部品>

部品番号	部品名	個数	備考
23901-BA1-00*	ゴムクローラー 120×60×20	1	本書記載名：クローラー
31901-BA4-80*	エッジ	1	
82100-BA4-00*	バッテリー	1	
91811-130	ブレードヒューズ 30A	1	本書記載名：ヒューズ

<標準付属部品>

部品番号	部品名	個数	備考
—	保証書、安全確認カード	1	
91902-BA4-000	取扱説明書（e-SB81）	1	本書
82100-BA4-00*	バッテリー	1	
82300-BA4-00*	チャージャー	1	本書記載名：充電機器 （ACアダプター／ACケーブル）
—	バッテリーキー	2	本書記載名：ロックキー
91811-130	ブレードヒューズ 30A	1	本書記載名：ヒューズ
31700-BA4-000	ノブボルトM8×25	2	本書記載名：ノブボルト ハンドル固定用
94101-08010	ミガキW8	2	本書記載名：ワッシャー ハンドル取付用
94111-08012	バネW8	2	本書記載名：スプリングワッシャー ハンドル取付用



和同産業株式会社



本社・花巻営業所 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地
TEL: 0198-24-3221 FAX: 0198-41-1221

岩見沢営業所 〒068-0853 北海道岩見沢市大和三条9丁目21-2
TEL: 0126-22-6221 FAX: 0126-32-2162

関東営業所 〒327-0845 栃木県佐野市久保町150-1
※本社へお問い合わせください

長野営業所 〒381-2207 長野県長野市大橋南2丁目19番地
TEL: 026-285-0885 FAX: 026-285-0887

岡山営業所 〒708-0015 岡山県津山市神戸536-1
※本社へお問い合わせください

九州営業所 〒861-8007 熊本県熊本市北区龍田弓削1丁目28-5
※本社へお問い合わせください

WADOホームページ <https://www.wadosng.jp/>

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店			

本冊子には再生紙を使用しています。

2025年4月
91902-BA4-000